



HDMI 信号分配器

VAC-5002HDMIS

取扱説明書 Ver.1.8.0

IDK Corporation

1.8.0_G

この度は、HDMI 信号分配器 VAC-5002HDMIS をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
VAC-5002HDMIS は低価格ながら高い品質を持っています。本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をお読みください。
また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

以下の内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、重要な事柄が書かれています。

設置やご使用前には必ずお読みください。

尚、本警告、注意事項は、弊社製品に広く共通する内容ですので、ご購入いただいた製品によりましては該当しない項目もございますので、ご留意の上お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します
---	---

 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します
---	--

絵表示の例

	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。 右図の場合は「感電注意」⇒	
	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。 右図の場合は「分解禁止」⇒	
	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。 右図の場合は「電源プラグを抜く」⇒	



警告

□異常状態の(煙が出ている、異音・異臭がする)ときは電源プラグを抜く-----



煙がでていたり変な臭いや音がするなどの異常状態で使用を続けると、漏電や火災の原因になります。すぐに使用中止し、機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、当社営業部に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

□ふたは絶対に開けない-----



この機器のふたははずさないでください。感電の原因になります。
この機器を分解、修理・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は当社営業部にご依頼ください。

□指定以外の電源電圧で使用しない-----



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。
火災・感電の原因となります。

□指定以外のヒューズは使用しない-----



表示されたヒューズ以外のものは使用しないで下さい。
火災・感電の原因となります。

□機器内部に物や水を入れない-----



この機器の開口部(通風孔など)から金属類や可燃物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。



万一異物が機器内部に入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部にご連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。



万一機器内部に水などの液体が入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部にご連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。



□電源コードが破損するようなことはしない

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本体の下敷きになったりしないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)、当社営業部に交換をご依頼ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

□不安定な場所に置かない

本体を不安定な台の上や傾いた場所などに置くと、転倒・落下して怪我をする恐れがあります。また、故障の原因となります。

□雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

感電の原因となる恐れがあります。

□電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

異常発生時、直ちに電源プラグをコンセントから抜けるよう留意してください。

□電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、感電、漏電、火災の原因となります。
また、たこ足配線はしないで下さい。



注意

□ 湿気や埃の少ない場所、直射日光の当たらない場所に置く-----



湿気や埃の多い場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

□ 通風孔をふさがない-----



この機器の通風孔をふさがないで下さい。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

□ お手入れの時は電源プラグを抜く。抜くときは必ずプラグを持って抜く-----



お手入れの際は安全の為に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
また電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



□ この機器の上に重い物を置かない-----



重い物や、本体からはみ出るような大きな物を上に置くと不安定になり、倒れたり落ちたりして怪我の原因になることがあります。

□ 定期的に電源プラグのチェックを行う-----



長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、その間に埃やゴミが溜まってきます。さらに空気中の水分などを吸収すると、電気がながれやすくなるため(トラッキング現象)、プラグやコンセントが炭化し、時には発火の原因になることがあります。事故を防ぐ為、定期的に電源プラグがしっかりささっているか、埃が溜まっていないかなどを点検してください。

□ 本体付属の専用 AC アダプタまたは、電源コード以外のものは使わない-----

付属のもの以外をご使用になれますと、不適合により火災や感電の原因になることがあります。

*標準付属品の AC 電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、弊社までご相談ください。

□ 使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る-----

使用の際は使用温度/湿度範囲、保存の場合は保存温度/湿度範囲を守ってください。範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になることがあります。

□ 他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る-----

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従ってください。電源を切らずに接続を行うと、火災や感電の原因になることがあります。

□ ゴム足のお取り扱いについて-----

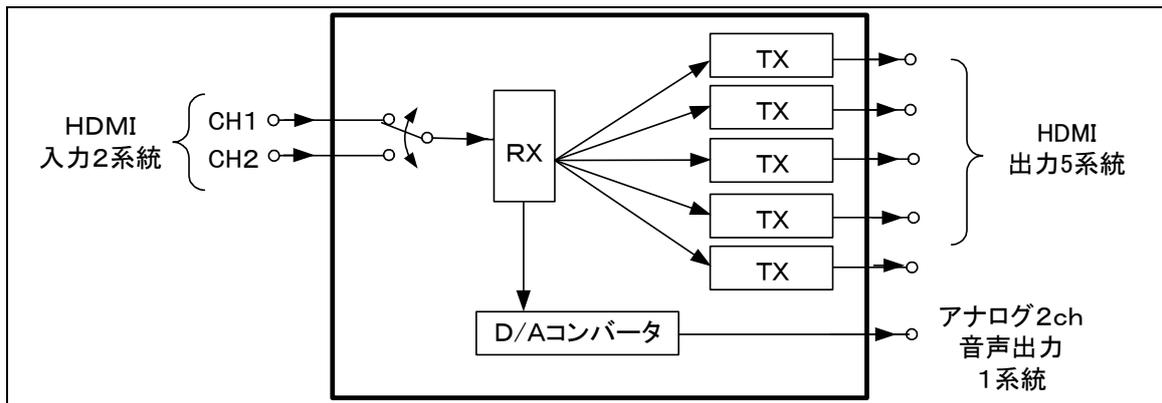
ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合、付属のゴム足、付属のネジ以外は使用しないでください。

目次

1	製品概要	10
2	各部名称と働き	11
2.1	フロントパネル	11
2.2	リアパネル	11
2.3	HDMI コネクタの接続方法	12
2.4	DVI コネクタの接続について	15
3	基本操作	16
3.1	入力の選択方法	16
3.2	使用時の注意事項	16
3.3	メニュー操作	17
3.4	工場出荷時の設定に戻す	18
4	各種設定	19
4.1	メニュー番号	20
4.2	EDID データのコピーと保存先	22
4.3	EDID 解像度設定(外部/コピー/内蔵)	23
4.4	外部 EDID 設定	26
4.5	コピーEDID 設定	27
4.6	信号の無入力監視設定	28
4.7	DDC 電源の監視設定	29
4.8	Deep Color 設定	30
4.9	PCM Audio 設定	31
4.10	AC-3/Dolby Digital Audio 設定	32
4.11	AAC Audio 設定	33
4.12	Dolby Digital + Audio 設定	34
4.13	DTS Audio 設定	35
4.14	DTS-HD Audio 設定	36
4.15	Dolby TrueHD Audio 設定	37
4.16	Audio チャンネル数設定	38
4.17	EDID 物理アドレスコピー設定	40
4.18	出カイコライザー設定	41
4.19	HDMI 音声出力設定	42
4.20	キーロック設定	42

4.21	バージョン情報表示	43
4.22	メーカーメンテナンス表示設定	43
4.23	強制 HDMI モード出力設定	44
4.24	RX HDCP 設定	45
4.25	ホットプラグ オフ マスク設定	46
4.26	強制カラー変換モード出力設定	48
4.27	状態表示	49
5	外部制御によるコントロール	54
5.1	外部制御コネクタのピン配列 (D-sub9 ピン)	54
5.2	制御方法	55
5.3	外部入出力回路	56
6	カスケード接続	57
7	仕様	58
7.1	製品仕様	58
7.2	HDMI Type A コネクタのピン配列	59
8	故障かな?と思う前に	60
9	ヒューズについて	63

1 製品概要



[図 1.1] 映像・音声信号の入出力構成

VAC-5002HDMIS は HDMI Ver.1.3a 対応のデジタル映像・音声信号分配器です。

2 系統の HDMI 入力信号のいずれか 1 系統を 5 系統の HDMI 端子へ映像・音声を出力することが可能です。

HDMI 入力端子を持つ複数の機器に分配できるので、ハイビジョン映像の多面システムやモニタ生産ラインでの検査などに使用できます。

また、2ch ステレオ音声出力 1 系統を搭載していますので、入力したデジタル映像・音声信号から音声信号のみをアナログ音声信号に変換して出力することが可能です。

HDMI 入力部には全自動、HDMI 出力部には手動のイコライザー回路を搭載しています。これによりケーブル延長による信号の劣化を最小限に抑えることができます。

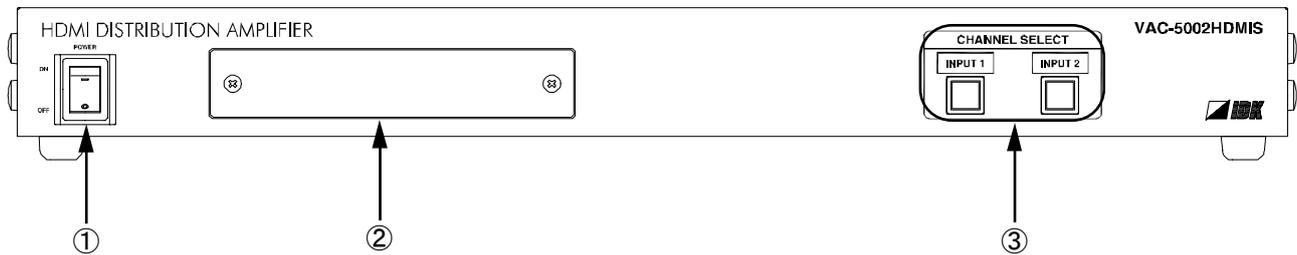
本機は HDCP による著作権保護に対応しております。

◆ HDCP とは

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System) : デジタル映像信号に対する著作権保護技術です。

2 各部名称と働き

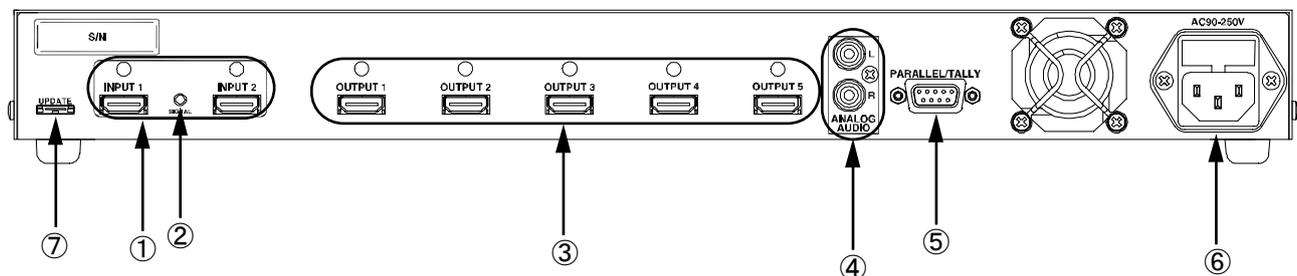
2.1 フロントパネル



【図 2.1】 フロントパネル

- ① 主電源スイッチ（POWER）
本機の電源を ON/OFF します。
- ② ディスプレイおよびメニュー操作キー
各種メニューの操作を行う場合に使用します。詳しくは **3.3 メニュー操作**(17 ページ)をご覧ください。
- ③ 入力選択キー（CHANNEL SELECT）
映像・音声入力を選択します。詳しく **3.1 入力の選択方法**（16 ページ）をご覧ください。

2.2 リアパネル



【図 2.2】 リアパネル

- ① HDMI 入力コネクタ（INPUT1～INPUT2）
ブルーレイプレーヤー、DVD プレーヤーなどのソース機器を接続します。
- ② SIGNAL LED
INPUT1 あるいは INPUT2 HDMI 入力コネクタから垂直同期信号が入力されたときに点灯します。
- ③ HDMI 出力コネクタ（OUTPUT1～OUTPUT5）
INPUT1 あるいは INPUT2 HDMI 入力コネクタからの信号を出力します。
液晶テレビ、プラズマテレビなどのシンク機器を接続します。
- ④ 音声出力コネクタ（ANALOG AUDIO）
INPUT1 あるいは INPUT2 HDMI 入力コネクタからのアナログ音声信号を出力します。
出力される音声信号については詳しく **3.2 使用時の注意事項**(16 ページ)をご覧ください。

- ⑤ パラレル入力・タリール出力コネクタ（PARALLEL/TALLY）
接点による外部制御を行う場合に使用します。詳しくは 54 ページをご覧ください。
- ⑥ 電源コネクタ（AC90-250V）
- ⑦ 保守用コネクタ（UPDATE）
未使用。このコネクタには何も接続しないでください。

2.3 HDMI コネクタの接続方法

HDMI の入出力用コネクタに接続するケーブルは、HDMI TypeA(オス)コネクタのケーブルを使用してください。

入出力ケーブルに 5m より長いケーブルを使用する際は、下記の当社推奨ケーブル(AWG24)をご使用ください。

推奨ケーブル型番

10m :HDMI/HDMI24-10

20m :HDMI/HDMI24-20

30m :HDMI/HDMI24-30

40m :HDMI/HDMI24-40

50m :HDMI/HDMI24-50

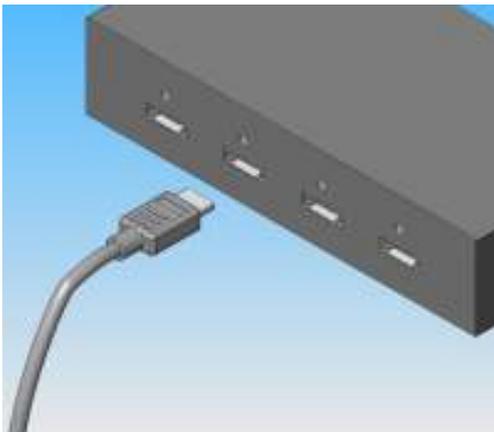
※ 型番は変更になる可能性がありますので営業担当までお問い合わせください

※ 推奨ケーブル以外を接続した際の動作確認は致しておりません。実機接続にてご確認ください。

AWG(American Wire Gauge:電線の導体サイズを表す単位)

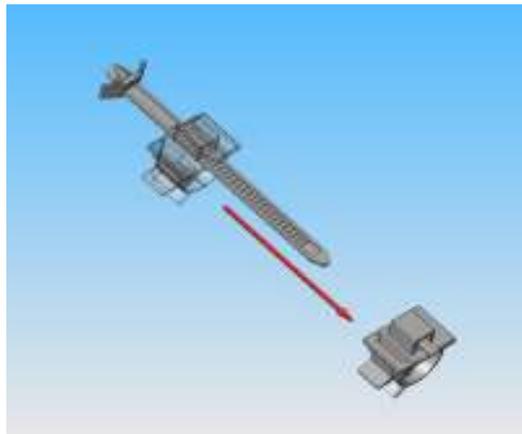
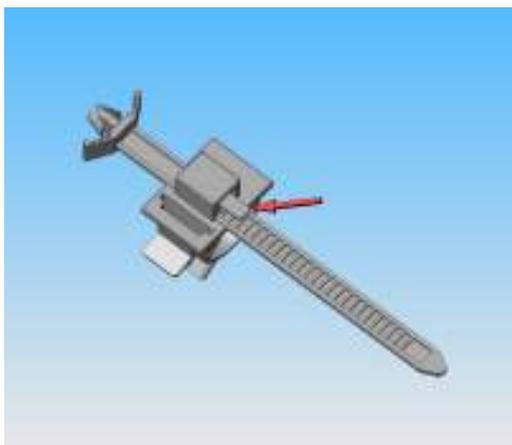
HDMI ケーブルにはロック機構がありませんが、付属の「コードクランプ」にて抜け防止が可能です。

手順 1:コードクランプ取り付け前



【図 2.3】コードクランプ取り付け前

手順 2: コードクランプの矢印部分を持ち上げてバーとリング部分を外します。



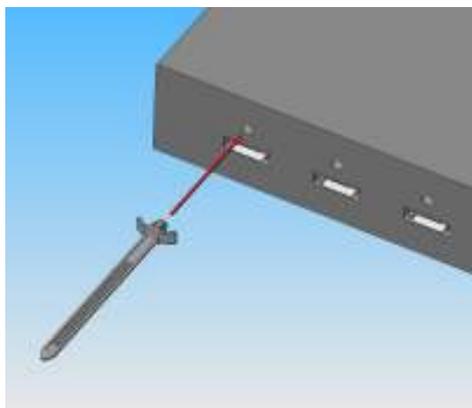
【図 2.4】 バーとリングの分離

手順 3: 外したリングを HDMI ケーブルにくぐらせます。



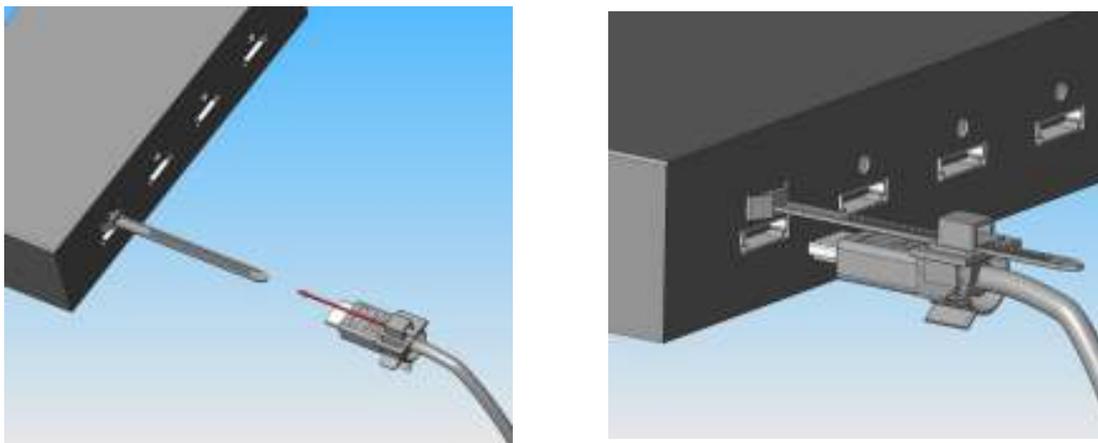
【図 2.5】 ケーブルへのリングの取り付け

手順 4: 凹凸が上を向くようバーを本体側の穴に差し込みます。



【図 2.6】 バーの本機への取り付け

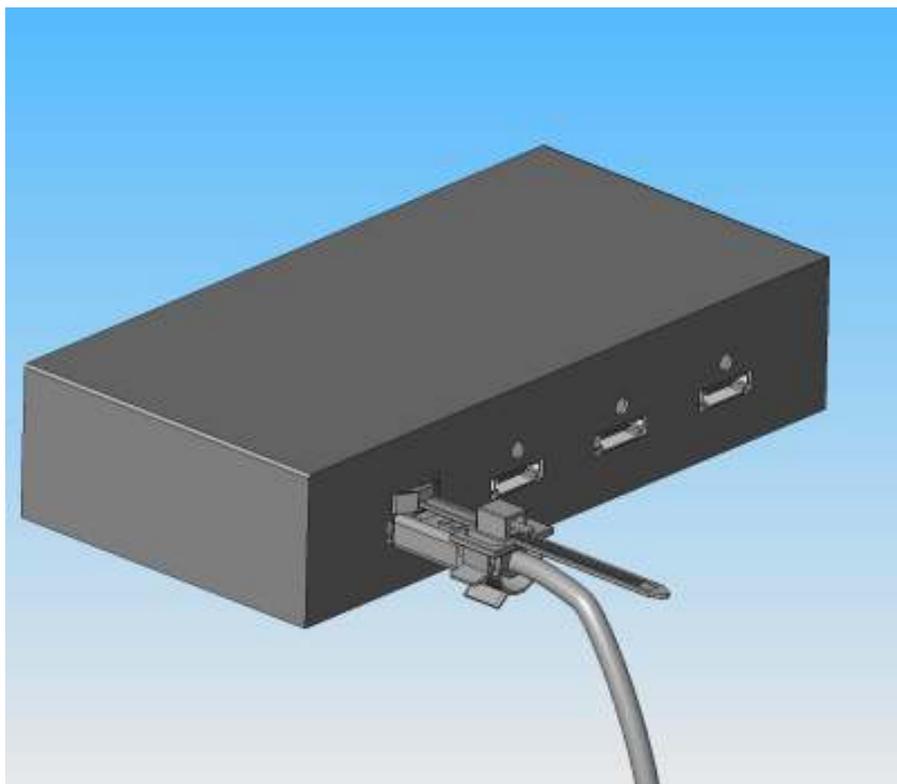
手順 5: HDMI ケーブルに取り付けたリングにバーを差し込みます。



[図 2.7] バーとリングの結合

完成図

※ケーブルを外すときは、手順 2: の要領でリングと HDMI ケーブルを外します。



[図 2.8] ケーブルの固定

2.4 DVIコネクタの接続について

本機に DVI 機器を接続したい場合、DVI/HDMI 変換ケーブルを用いて DVI コネクタを HDMI コネクタに変換して接続してください。

当社 DVI/HDMI 変換ケーブルの例

CBL-DH-015A (1.5m)

CBL-DH-03A (3.0m)

CBL-DH-05A (5.0m)

DVIの入出力にはDVI-IまたはDVI-Dのシングルリンクケーブルをご使用ください。(入出力できる信号はデジタル信号のみです。またデュアルリンクには対応していません)。入出力に5mより長いケーブルを使用する場合は、下記の当社推奨ケーブル(AWG24)をご使用ください。

AWG (American Wire Gauge: 電線の太さを表す単位)

推奨ケーブル型番

10m : DVIP/DVIP-S10

15m : DVIP/DVIP-S15

20m : DVIP/DVIP-S20

30m : DVIP/DVIP-S30

40m : DVIP/DVIP-S40

50m : DVIP/DVIP-S50

※ 推奨ケーブル以外を接続した際の動作確認は致していません。実機接続にてご確認ください。



DVI 信号は非常に高速な信号を伝送しているため、DVI Rev1.0 規格に適合したケーブルをご使用ください。(当社推奨ケーブルは、全て DVI Rev1.0 規格に適合した高品質ケーブルです)

3 基本操作

3.1 入力を選択方法

入力選択キー(CHANNEL SELECT)を押すとキーLED が点灯し、映像・音声入力を選択されます。
INPUT1 キーが、リアパネルの INPUT1 に、INPUT2 キーが、リアパネルの INPUT2 に相当します。

3.2 使用時の注意事項

- 1) 入力電源は AC90～250V です。電源投入の前に、電源電圧の確認をしてください。
- 2) HDMI 入出力ケーブルは奥までしっかりと挿入し、コネクタにストレスを与えないような配線をしてください。
- 3) 本機は x.v.Color、Lip sync には対応していません。
- 4) CEC は入力選択キーで選択した INPUT 入力と OUTPUT1 の間においてパススルーになっております。
本機は CEC を用いた他社対応のシステムリンク機能について動作保証するものではありません。
実機接続にてご確認ください。
- 5) 本機は[表 3.1] デジタル音声 対応フォーマット(16 ページ)の音声フォーマットに対応しております。
ただし、本機のアナログ音声出力はリニア PCM 音声のアナログ変換となります。工場出荷時の設定は 2ch リニア PCM 出力のみとなっております。
本機のアナログ音声出力を利用せずに、そのほかの音声フォーマットを HDMI OUTPUT 出力経由で利用される場合は、内蔵 EDID を選択して希望する Audio フォーマット設定を行ったのち、ソース機器側の音声フォーマット設定を行ってください。(詳しくは 31 ページ以降をご覧ください。)
本機のアナログ音声出力を利用する場合は、本機の Audio フォーマット設定を行って 2ch リニア PCM を選択したのち、ソース機器側の音声フォーマット設定を行ってください。
(詳しくは 31 ページ以降をご覧ください。)
- 6) 本機は 12bit (36bit/pixel) Deep Color に対応しております。
本機に接続されたソース機器およびモニタなどが Deep Color に対応しているにもかかわらず、ソース機器から Deep Color 出力がされない場合は、本機の Deep Color 設定を行ったのち、ソース機器側の映像フォーマット設定を行ってください。本機の工場出荷時設定は 8bit (24bit/pixel)になっております。
(詳しくは 30 ページをご覧ください。)

[表 3.1] デジタル音声 対応フォーマット

音声フォーマット	詳細	メディアの例
2チャンネルリニア PCM	2ch、32 ～ 192kHz、16/20/24bit	CD、DVD-Video、 DVD-Audio
マルチチャンネルリニア PCM	8ch、32 ～ 192kHz、16/20/24bit	DVD-Audio
AC-3、Dolby Digital、DTS	ビットストリーム	DVD-Video
Dolby Digital+、DTS-HD、Dolby TrueHD	ビットストリーム	HD DVD、Blu-ray Disc
AAC	ビットストリーム	地上・BS・CS デジタル放送

- * 本機に接続されたモニタなどに、正しく映像や音声再生されないときや、表示画面が乱れるときなどは
8. 故障かな?と思う前に (60 ページ) をご参照ください。

◆ CEC とは

CEC(Consumer Electronics Control)

HDMI で規格化されている機器制御信号プロトコルのこと。

HDMI ケーブルを介して他機を制御することができます。

具体的には 1

つのリモコンで HDMI 搭載の DVD プレイヤーと HDMI ケーブル接続された HDMI 搭載のテレビを操作することができます。

◆ Deep Color とは

HDMI の映像信号処理において転送可能な色数を増やした規格です。HDMI のバージョン 1.2a の色深度は 24bit までだったのに対し、HDMI のバージョン 1.3a では Deep Color が採用され、色深度が 30bit、36bit、48bit までとなり、Deep Color 対応機器を接続することで、より高精細な色再現が可能になります。本機は 36bit Deep Color に対応しております。

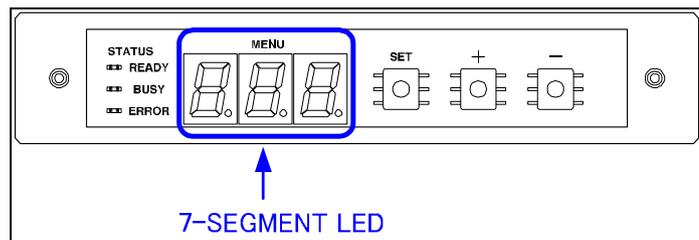
3.3 メニュー操作

各種メニューの操作を行います。

ディスプレイおよびメニュー操作キーはカバーで隠れていますので、操作を行う場合は、ネジ 2 箇所を外しカバーを取り外してください。



【図 3.2】 カバーの取り外し



【図 3.3】 ディスプレイおよびメニュー操作キー

READY LED	: EDID データの読み込み、書き込みが可能な状態の場合に点灯します。
BUSY LED	: EDID データの読み込み、または書き込み中に点灯します。
ERROR LED	: EDID データの読み込み失敗時に点灯します。
7-SEGMENT LED	: メニュー番号または設定値を表示します。
SET キー	: メニュー表示、設定値の決定を行います。
－＋キー	: メニューの切替、設定値の変更を行います。

各種メニューの操作は 19 ページ以降をご覧ください。

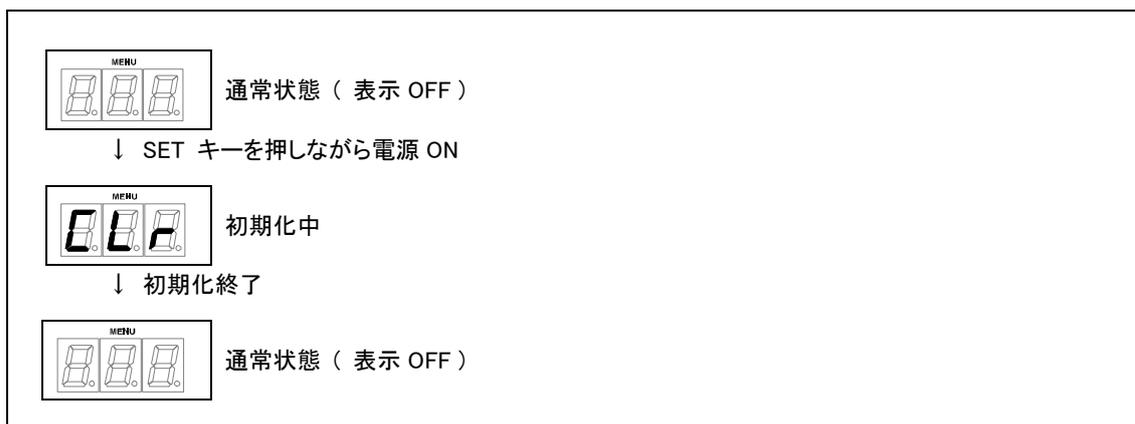
3.4 工場出荷時の設定に戻す

SET キーを押しながら電源を投入すると、入力の選択および各種設定(各種設定の詳細、および工場初期値は 20 ページ以降をご覧ください)を工場初期値に戻すことができます。

初期化中は、図 3.5.1 で示すように 7-SEGMENT LED が点灯します。

SET キーは 7-SEGMENT LED が消灯するまで押し続けてください。消灯後、初期化が終了し通常の動作を開始します。

※ 一度工場初期値にすると、それまで使用していた設定に戻すことはできませんのでご注意ください。

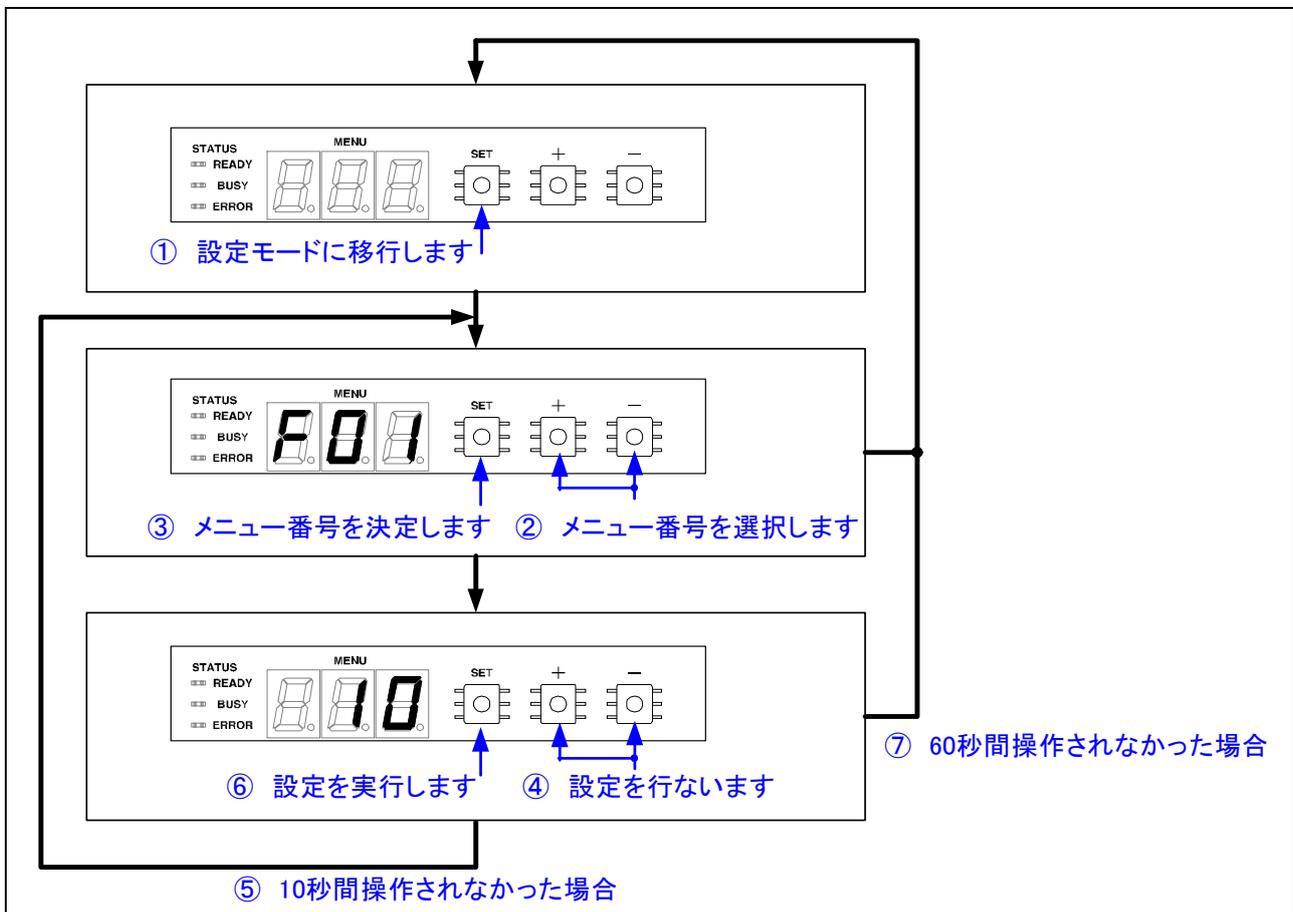


[図 3.4] 初期化(工場出荷時の設定に戻す操作)

4 各種設定

通常、7-SEGMENT LED は消灯しています。各種設定を行う場合は以下の手順で操作を行ってください。

- ① SET キーを押すと設定モードに移行し、7-SEGMENT LED にメニュー番号 (F01 ~) が表示されます。
- ② - + キーで設定を行うメニュー番号を選択します。
- ③ SET キーを押し、設定を行うメニュー番号を決定します。
- ④ 7-SEGMENT LED に現在の設定値が表示されるので、- + キーで設定を行います。
- ⑤ 10 秒間操作キーが操作されなかった場合は、②に戻ります。
※ 状態表示(49 ページ)中は②に戻りません。
- ⑥ SET キーを押すとメニュー番号の選択に戻ります。さらに設定する項目がある場合は、②以降を繰り返します。
- ⑦ 60 秒間メニュー操作キーが操作されなかった場合は、7-SEGMENT LED は自動的に消灯します。再度、設定を行う場合は、①から操作を行ってください。
※ 状態表示(49 ページ)中は 7-SEGMENT LED は自動的に消灯しません。



[図 4.1] メニュー操作の流れ

4.1 メニュー番号

[表 4.2] メニュー番号(通常メニュー)

種別	メニュー番号	機能	詳細ページ	
入力系	F01	EDID データのコピーと保存先 1	P.22	
	F02	EDID データのコピーと保存先 2	P.22	
	F03	EDID データのコピーと保存先 3	P.22	
	F10	EDID 解像度設定 INPUT1	P.23	
	F11	EDID 解像度設定 INPUT2	P.23	
	F12	外部 EDID 設定 INPUT1	P.26	
	F13	外部 EDID 設定 INPUT2	P.26	
	F14	コピーEDID 設定 INPUT1	P.27	
	F15	コピーEDID 設定 INPUT2	P.27	
	F16	信号の無入力監視設定 INPUT1	P.28	
	F17	信号の無入力監視設定 INPUT2	P.28	
	F18	DDC 電源の監視設定 INPUT1	P.29	
	F19	DDC 電源の監視設定 INPUT2	P.29	
	F20	Deep Color 設定 INPUT1	P.30	
	F21	Deep Color 設定 INPUT2	P.30	
	F22	PCM Audio 設定 INPUT1	P.31	
	F23	PCM Audio 設定 INPUT2	P.31	
	F24	AC-3/Dolby Digital Audio 設定 INPUT1	P.32	
	F25	AC-3/Dolby Digital Audio 設定 INPUT2	P.32	
	F26	AAC Audio 設定 INPUT1	P.33	
	F27	AAC Audio 設定 INPUT2	P.33	
	F28	Dolby Digital + Audio 設定 INPUT1	P.34	
	F29	Dolby Digital + Audio 設定 INPUT2	P.34	
	F30	DTS Audio 設定 INPUT1	P.35	
	F31	DTS Audio 設定 INPUT2	P.35	
	F32	DTS-HD Audio 設定 INPUT1	P.36	
	F33	DTS-HD Audio 設定 INPUT2	P.36	
	F34	Dolby TrueHD Audio 設定 INPUT1	P.37	
	F35	Dolby TrueHD Audio 設定 INPUT2	P.37	
	F36	Audio チャンネル数設定 INPUT1	P.38	
	F37	Audio チャンネル数設定 INPUT2	P.38	
	F38	EDID 物理アドレスコピー設定 INPUT1	P.40	
	F39	EDID 物理アドレスコピー設定 INPUT2	P.40	
	出力系	F60	出力コライザー設定 OUTPUT1	P.41
		F61	出力コライザー設定 OUTPUT2	P.41
		F62	出力コライザー設定 OUTPUT3	P.41
		F63	出力コライザー設定 OUTPUT4	P.41
		F64	出力コライザー設定 OUTPUT5	P.41
		F65	HDMI 音声出力設定	P.42
その他	F80	キーロック設定	P.42	

(次ページに続きます)

[表 4.3] メニュー番号(通常メニュー)

種別	メニュー番号	機能	詳細ページ
その他	F90	バージョン情報表示	P.43
	F99	メーカーメンテナンス表示設定	P.43

[表 4.4] メニュー番号(メーカーメンテナンス設定メニュー)

種別	メニュー番号	機能	詳細ページ
出力系	C01	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT1	P.44
	C02	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT2	P.44
	C03	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT3	P.44
	C04	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT4	P.44
	C05	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT5	P.44
入力系	C06	RX HDCP 設定 INPUT1	P.45
	C07	RX HDCP 設定 INPUT2	P.45
	C10	ホットプラグ オフ マスク設定	P.46
出力系	C55	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT1	P.48
	C56	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT2	P.48
	C57	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT3	P.48
	C58	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT4	P.48
	C59	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT5	P.48

[表 4.5] メニュー番号(メーカーメンテナンスメニュー)

メニュー番号	機能	詳細ページ
L01~LXX	状態表示	P.49

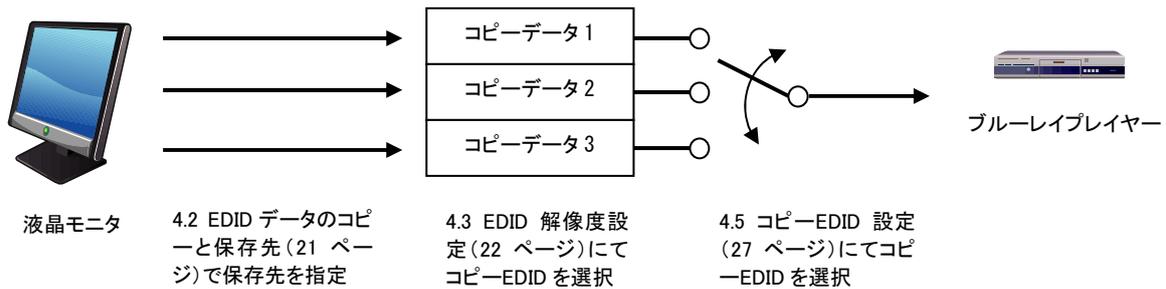
4.2 EDID データのコピーと保存先

表示機器の EDID データを読み取り本機に記憶します。

本機の出力にケーブル補償器などを接続したことにより本機と表示機器との距離が長くなり、表示機器の EDID を読み取れないときに、一旦、本機と表示機器を短いケーブルで接続し、表示機器の EDID データをコピーする場合などに使用してください。

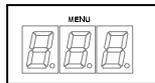
コピーした EDID データを使用する場合は、**4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ)にてコピーEDID を選択し、**4.5 コピーEDID 設定** (27 ページ)で使用するコピーデータ番号を設定することで、以降は内蔵 EDID データと同じように扱うことができます。EDID データは全部で 3 つ保存できます。

既に EDID データが保存されている場合、データは上書きされます。



[図 4.6] EDID データのコピーと保存先

・メニューによる設定



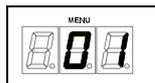
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



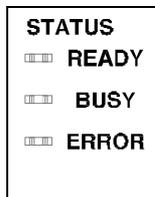
←+キー EDID コピーデータ 1→F01 を選択
EDID コピーデータ 2→F02 を選択、EDID コピーデータ 3→F03 を選択

↓ SET キー



←+キー コピー先の HDMI 出力コネクタを選択 (初期値は 01: OUTPUT1)
OUTPUT1→01、OUTPUT2→02、OUTPUT3→03、
OUTPUT4→04、OUTPUT5→05

↓ SET キー



STATUS
 ■ ■ ■ READY EDID のコピーが終了すると READY LED が緑色に点灯します。
 ■ ■ ■ BUSY 接続ミスや、データの読み取りおよび、書き込みに失敗した場合、データにチェックサムエラーがある場合は ERROR LED が赤色に点灯します。その際は接続状態を再確認して EDID コピーデータの読み込みを行ってください。
 ■ ■ ■ ERROR

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

4.3 EDID 解像度設定(外部/コピー/内蔵)

HDMI入力端子に接続されたソース機器に対して本機が送信するEDIDデータを設定します。

EDID設定番号 3～22 を選択した場合、本機の内蔵EDIDを設定します。

そのほか、**4.2 EDIDデータのコピーと保存先**(22ページ)で取得したEDIDと、HDMI出力コネクタに接続されたモニターなどシンク機器のEDIDを読み込んで使う外部EDIDが選択できます(26ページを参照ください)。

INPUT1、INPUT2個別に設定できます。EDID設定番号の設定内容詳細は[表 4.7] **EDID設定値**(24ページ)を参照ください。

1) EDID設定番号 1 (外部EDID)

外部EDIDが選択されます。EDIDデータを取得するHDMI出力コネクタは**4.4 外部EDID設定**(26ページ)にて選択できます。

2) EDID設定番号 2 (コピーデータ 1～3)

4.2 EDIDデータのコピーと保存先(22ページ)で取得したEDIDを選択します。

EDIDコピーデータ 1～3の選択は **4.5 コピーEDID設定**(27ページ)で行います。

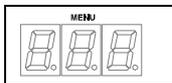
3) EDID設定番号 3～6 (TVなど、HDMI機器用内蔵EDID)

ハイビジョン液晶テレビやハイビジョンプラズマテレビなどに用いられるCEA-861E規格のハイビジョン信号と同等タイミングのEDIDを設定します。

4) EDID設定番号 7～20 (パソコンなど、DVI機器用内蔵EDID)

パソコンなどのDVI機器を接続した場合に用います。VESA DMT規格またはVESA CVT規格に準拠したタイミングで、1920x1200、1080pはReduced Blankingになります。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



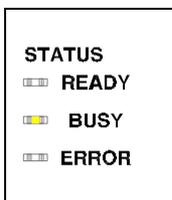
←+キー INPUT1 の EDID を設定→F10 を選択
INPUT2 の EDID を設定→F11 を選択

↓ SET キー



←+キー 設定したい EDID の EDID 設定番号を選択 (初期値は 03: 1080p)

↓ SET キー



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。

EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

外部 EDID を選択した場合に、接続ミスや、データの読み取りおよび、書き込みに失敗した場合、データにチェックサムエラーがある場合は ERROR LED が赤色に点灯します。

その際は接続状態を再確認して EDID 種別設定を行ってください。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声途切れします。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

◆ EDID について

通常、ソース機器（ブルーレイディスクレコーダやパソコンなど）とシンク機器（液晶ディスプレイなど）を直接接続して電源を入れると、ソース機器はシンク機器が入力することのできる信号周波数の範囲などの情報を問い合わせ、そのデータを取得します。（パソコンでは、この一連の動きをプラグアンドプレイといいます。）これら情報はEDIDに書き込まれています。

本設定メニューでは、ソース機器からの問い合わせに対して本機が送信するEDIDデータを設定します。

設定するデータは、本機にあらかじめ登録された内蔵データ、または本機のOUTPUTコネクタに接続された表示機器から読み取ったデータから選択することが可能です。

[表 4.7] EDID 設定値

設定番号	設定値(解像度)	画素数	規格	備考
1	外部 EDID	-	-	取得データが無い場合初期値 3 を設定
2	コピー EDID	-	-	取得データが無い場合初期値 3 を設定
3	1080p(59.94p、60p)	(1920×1080)	HDTV	* 初期値
4	720p	(1280×720)	HDTV	
5	1080i	(1920×1080)	HDTV	
6	1080p(24p、25p、30p、50p)	(1920×1080)	HDTV	
7	SVGA	(800×600)	VESA	
8	XGA	(1024×768)	VESA	
9	720p	(1280×720)	CVT	DVI 入力用
10	WXGA	(1280×768)	VESA	
11	WXGA	(1280×800)	VESA	MAC 対応
12	Quad-VGA	(1280×960)	VESA	
13	SXGA	(1280×1024)	VESA	
14	WXGA	(1360×768)	VESA	
15	SXGA+	(1400×1050)	VESA	
16	WXGA+	(1440×900)	VESA	
17	UXGA	(1600×1200)	VESA	
18	WSXGA+	(1680×1050)	VESA	
19	1080p	(1920×1080)	CVT	DVI 入力用 (Reduced Blanking)
20	WUXGA	(1920×1200)	VESA	Reduced Blanking
21	WXGA+	(1366×768)	VESA	
22	WXGA++	(1600×900)	VESA	Reduced Blanking

EDID設定番号 3～22のEDIDは使用可能な最大解像度で設定しますが、それ以下の解像度にも対応しています。接続するパソコンから出力する解像度に対応したものを選択してください。

[表 4.8] 対応解像度 ○：対応可 ×：対応不可

入力 解像度設定	対応解像度																
	640 x 480	800 x 600	1024 x 768	1280 x 720	1280 x 768	1280 x 800	1280 x 960	1280 x 1024	1360 x 768	1366 x 768	1400 x 1050	1440 x 900	1600 x 900	1600 x 1200	1680 x 1050	1920 x 1080	1920 x 1200
3 1080p(59.94p、60p)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×
4 720p	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5 1080i	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6 1080p(24p、25p、30p、50p)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×
7 800x600	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8 1024x768	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9 1280x720	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10 1280x768	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11 1280x800	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12 1280x960	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
13 1280x1024	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
14 1360x768	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
21 1366x768	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
15 1400x1050	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
16 1440x900	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×
22 1600x900	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×
17 1600x1200	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×
18 1680x1050	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×
19 1920x1080	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
20 1920x1200	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

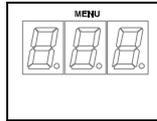
4.4 外部 EDID 設定

4.3 EDID解像度設定(23ページ)にて、EDID種別を外部EDIDに設定した際に、読み込みを行うHDMI出力コネクタを設定します。

EDID種別を外部EDIDに設定する前に本メニューを実行する必要があります。

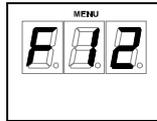
INPUT1、INPUT2個別に設定できます。

・メニューによる設定



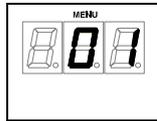
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー INPUT1 の外部 EDID を設定→F12 を選択
INPUT2 の外部 EDID を設定→F13 を選択

↓ SET キー



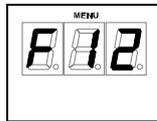
—+キー 読み込み先の HDMI 出力コネクタを選択 (初期値は 01: OUTPUT1)
OUTPUT1→01、OUTPUT2→02、OUTPUT3→03、OUTPUT4→04、OUTPUT5→05

↓ SET キー



接続ミスや、データの読み取りおよび、書き込みに失敗した場合、データにチェックサムエラーがある場合は ERROR LED が赤色に点灯します。
その際は接続状態を再確認して EDID 種別設定を行ってください。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声は途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

4.5 コピーEDID 設定

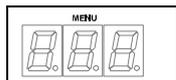
4.3 EDID解像度設定 (23ページ)にて、EDID種別をコピーEDIDに設定した際に読み込みを行う、コピーデータ番号を設定します。

コピーデータ番号は 4.2 EDID データのコピーと保存先 (22 ページ)で取得したデータです。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

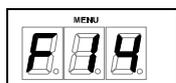
4.3 EDID解像度設定 (23ページ)にてコピーEDIDを選択することで、コピーしたEDIDデータを使用することができます。

・メニューによる設定



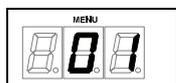
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



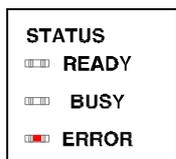
—+キー INPUT1 のセーブ EDID を設定→F14 を選択
INPUT2 のセーブ EDID を設定→F15 を選択

↓ SET キー



—+キー コピーデータ番号 (初期値は 01)
コピーデータ番号 1 (F01 でコピーしたデータ)→01
コピーデータ番号 2 (F02 でコピーしたデータ)→02
コピーデータ番号 3 (F03 でコピーしたデータ)→03

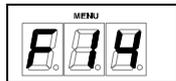
↓ SET キー



接続ミスや、データの読み取りおよび、書き込みに失敗した場合、データにチェックサムエラーがある場合は ERROR LED が赤色に点灯します。

その際は接続状態を再確認して EDID 種別設定を行ってください。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

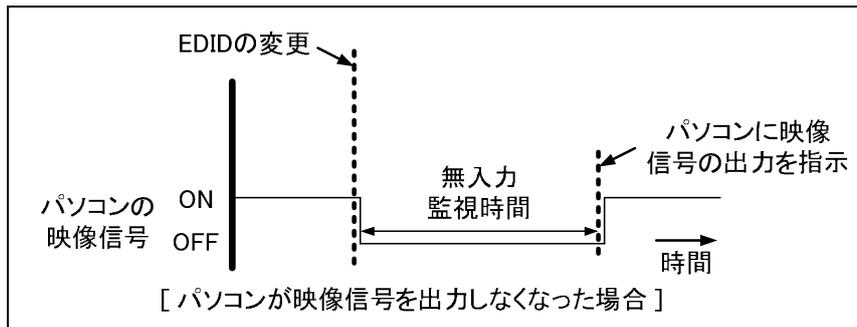
注意)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声は途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

4.6 信号の無入力監視設定

ソース機器が信号を出力しなくなってから本機が信号を出力するように指示を出すまでの時間を設定します。本機のINPUTコネクタに接続されたソース機器(HDMI機器またはDVI機器)の電源が入っているときに本機のEDIDの設定を変更したりすると、ごく一部のソース機器は信号を出力しなくなる場合があります。この場合、本機はソース機器に対して信号を出力するように指示を出すことができます。INPUT1、INPUT2個別に設定できます。

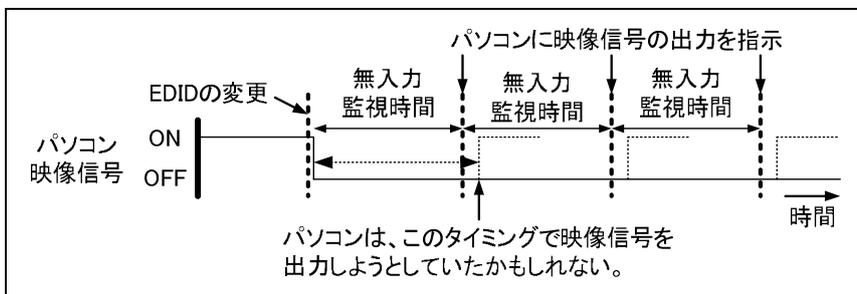
- ・無入力監視時間 (OFF、2 ~ 15 秒 ※初期値 10 秒)



【図 4.9】 無入力の監視

注意 1)

本機がパソコンに対して映像信号を出力するように指示を出すと、パソコンは映像信号の出力をリセットします。設定時間が短いと、パソコンが映像信号の出力をリセットする動作を繰り返してしまい、映像が出力されなくなる場合があります。

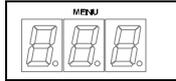


【図 4.10】 リセットの繰り返し

注意 2)

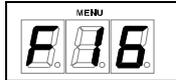
パソコンの「モニタの省電力機能」と無入力の監視機能を同時に使用すると、モニタの省電力機能が働いた後、本メニューで設定した時間を経過すると、再度パソコンが映像を出力する場合があります。パソコンの「モニタの省電力機能」を使用する場合は、無入力の監視機能を OFF に設定してください。

・メニューによる設定



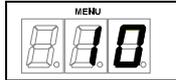
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



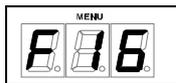
←+キー INPUT1 の信号の無入力監視設定→F16 を選択
 INPUT2 の信号の無入力監視設定→F17 を選択

↓ SET キー



←+キー 無入力監視時間を選択(初期値は 10: 10 秒)
 OFF、02~15: 2 秒~15 秒

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

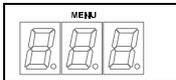
4.7 DDC 電源の監視設定

DDC 電源の監視を設定します。

通常、ソース機器(HDMI 機器または DVI 機器)は電源が入っているときに表示機器に DDC 電源を出力します。本機は、INPUT コネクタに接続されたソース機器の DDC 電源を監視してソース機器が接続されているかどうかを判断するため、DDC 電源を出力しないソース機器が接続された場合は、ソース機器が接続されたことを認識できません。DDC 電源の監視を「OFF」に設定すると、DDC 電源の状態に関わらず、常にソース機器が接続されているものとして扱います。

通常は「ON」に設定します。INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

・メニューによる設定



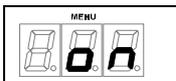
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



←+キー INPUT1 の DDC 電源監視設定→F18 を選択
 INPUT2 の DDC 電源監視設定→F19 を選択

↓ SET キー



←+キー DDC 電源監視設定を選択(初期値は ON: 監視 ON)
 OFF: 監視 OFF、ON: 監視 ON

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

4.8 Deep Color 設定

ソース機器から出力する Deep Color (色深度)を設定します。

本機の INPUT コネクタに接続されたブルーレイプレーヤーなどのソース機器および OUTPUT コネクタに接続されたモニタなどシンク機器が Deep Color に対応している場合、本メニューの設定によりソース機器の Deep Color 出力が可能になります。

本メニューの設定は、**4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3~22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

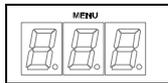
本機は 12bit (36bit/pixel) Deep Color に対応しております。工場出荷時設定は 8bit (24bit/pixel)になっております。

注意 1)

設定を 10bit (30bit/pixel)、12bit (36bit/pixel)にした場合、伝送クロックが高速になるため、品質の悪いケーブルや長いケーブルを接続した場合に、映像にノイズが入ることがあります。

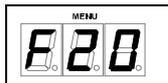
この場合は、8bit (24bit/pixel)に設定することにより症状が改善される場合があります。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



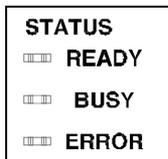
←+キー INPUT1 の Deep Color 設定→F20 を選択
INPUT2 の Deep Color 設定→F21 を選択

↓ SET キー



←+キー Deep Color 設定 (初期値は 8bit (24bit/pixel))
08:8bit (24bit/pixel)、10:10bit (30bit/pixel)、12:12bit (36bit/pixel)

↓



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。

EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

4.9 PCM Audio 設定

ソース機器から出力する PCM Audio の設定をします。

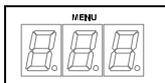
対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3~22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

注意 1)

液晶モニターやプラズマモニターなどは、対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



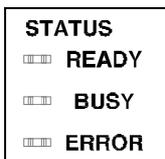
—+キー INPUT1 の PCM Audio 設定→F22 を選択
INPUT2 の PCM Audio 設定→F23 を選択

↓ SET キー



—+キー PCM Audio 設定 (初期値は 48: 48 kHz)
32: 32 kHz 44: 44.1 kHz 48: 48 kHz 88: 88.2 kHz 96: 96 kHz 192: 192 kHz

↓



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。
EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

注意 3)

PCM Audio は HDMI 規格上、出力 OFF にできません。

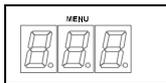
4.10 AC-3/Dolby Digital Audio 設定

ソース機器から出力する AC-3/Dolby Digital Audio の設定をします。
 対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3~22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。
 INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

注意 1)

液晶モニターやプラズマモニターなどは、対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

・メニューによる設定



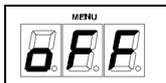
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



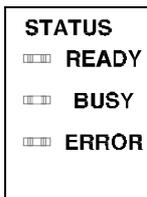
←+キー INPUT1 の AC-3/Dolby Digital Audio 設定→F24 を選択
 INPUT2 の AC-3/Dolby Digital Audio 設定→F25 を選択

↓ SET キー



←+キー AC-3/Dolby Digital Audio 設定 (初期値は OFF)
 OFF 32: 32 kHz 44: 44.1 kHz 48: 48 kHz

↓



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。
 EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

注意 3)

本機の音声出力コネクタからは音声は出力されません。

4.11 AAC Audio 設定

ソース機器から出力する AAC Audio の設定をします。

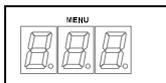
対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3～22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

注意 1)

液晶モニターやプラズマモニターなどは、対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー INPUT1 の AAC Audio 設定→F26 を選択
INPUT2 の AAC Audio 設定→F27 を選択

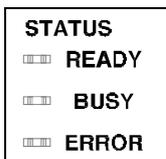
↓ SET キー



—+キー AAC Audio 設定 (初期値は OFF)

OFF 32: 32 kHz 44: 44.1 kHz 48: 48 kHz 88: 88.2 kHz 96: 96kHz

↓



STATUS
 READY EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。

BUSY EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

ERROR

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

注意 3)

本機の音声出力コネクタからは音声は出力されません。

4.12 Dolby Digital + Audio 設定

ソース機器から出力する Dolby Digital + Audio の設定をします。

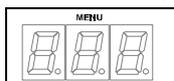
対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定**(23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3～22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

注意 1)

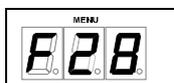
液晶モニターやプラズマモニターなどは、対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

・メニューによる設定



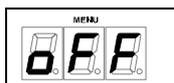
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



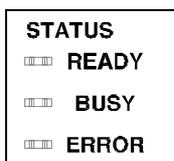
←+キー INPUT1 の Dolby Digital + Audio 設定→F28 を選択
INPUT2 の Dolby Digital + Audio 設定→F29 を選択

↓ SET キー



←+キー Dolby Digital + Audio 設定 (初期値は OFF)
OFF 32: 32 kHz 44: 44.1 kHz 48: 48 kHz

↓



STATUS
 READY EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。
 BUSY EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。
 ERROR

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

注意 3)

本機の音声出力コネクタからは音声は出力されません。

4.13 DTS Audio 設定

ソース機器から出力する DTS Audio の設定をします。

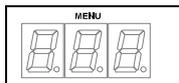
対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3～22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

注意 1)

液晶モニターやプラズマモニターなどは、対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



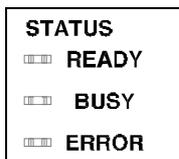
—+キー INPUT1 の DTS Audio 設定→F30 を選択
INPUT2 の DTS Audio 設定→F31 を選択

↓ SET キー



—+キー DTS Audio 設定 (初期値は OFF)
OFF 32: 32 kHz 44: 44.1 kHz 48: 48 kHz 96: 96kHz

↓



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。
EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

注意 3)

本機の音声出力コネクタからは音声は出力されません。

4.14 DTS-HD Audio 設定

ソース機器から出力する DTS-HD Audio の設定をします。

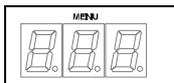
対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3～22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

注意 1)

液晶モニターやプラズマモニターなどは、対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

・メニューによる設定



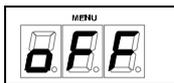
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



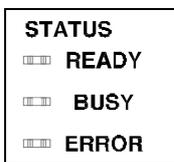
←+キー INPUT1 の DTS-HD Audio 設定→F32 を選択
INPUT2 の DTS-HD Audio 設定→F33 を選択

↓ SET キー



←+キー DTS-HD Audio 設定 (初期値は OFF)
OFF 44: 44.1 kHz 48: 48 kHz 88: 88.2 kHz 96 96kHz
176: 176.4 kHz 192: 192 kHz

↓



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。

EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

注意 3)

本機の音声出力コネクタからは音声は出力されません。

4.15 Dolby TrueHD Audio 設定

ソース機器から出力する Dolby TrueHD Audio の設定をします。

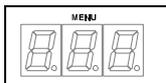
対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定**(23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3~22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

注意 1)

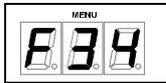
液晶モニターやプラズマモニターなどは、対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



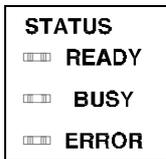
—+キー INPUT1 の Dolby TrueHD Audio 設定→F34 を選択
INPUT2 の Dolby TrueHD Audio 設定→F35 を選択

↓ SET キー



—+キー Dolby TrueHD Audio 設定 (初期値は OFF)
OFF 44: 44.1 kHz 48: 48 kHz 88: 88.2 kHz 96: 96kHz
176: 176.4 kHz 192: 192 kHz

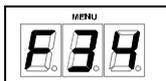
↓



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。

EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

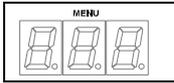
注意 3)

本機の音声出力コネクタからは音声は出力されません。

4.16 Audio チャンネル数設定

ソース機器からマルチチャンネルの音声を出力する場合のチャンネル数の設定をします。
 本メニューは、対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3~22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。
 INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



←+キー INPUT1 のチャンネル数設定→F36 を選択
 INPUT2 のチャンネル数設定→F37 を選択

↓ SET キー



←+キー チャンネル数設定 (初期値は 02: 2ch)
 02: 2ch 03: 3 (2..1)ch 06: 6 (5.1)ch 08: 8 (7.1)ch

↓



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。
 EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

↓



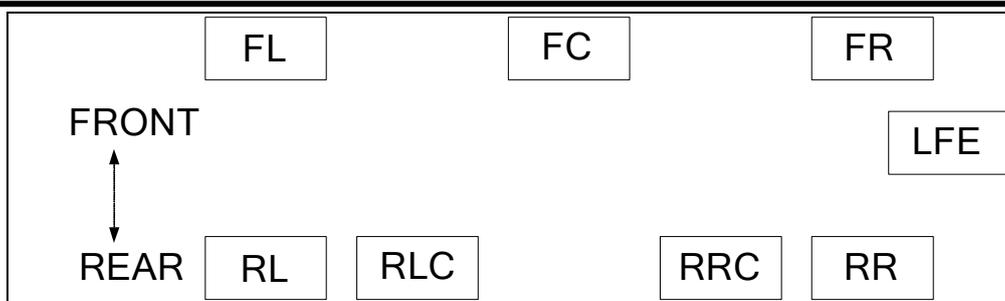
処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 1)

Audio チャンネル数を設定すると、**[表 4.11] チャンネル数とスピーカー構成** のスピーカー構成で音声が出力されます。

[表 4.11] チャンネル数とスピーカー構成

スピーカー数	FR/FL	LFE	FC	RL/RR	RLC/RRC
2ch	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
3(2.1)ch	ON	ON	OFF	OFF	OFF
6(5.1)ch	ON	ON	ON	ON	OFF
8(7.1)ch	ON	ON	ON	ON	ON



[図 4.12] チャンネル数とスピーカー構成

[表 4.13] スピーカー配置

名称	位置
FL	Front Left
FC	Front Center
FR	Front Right
RL	Rear Left
RR	Rear Right
RLC	Rear Left Center
RRC	Rear Right Center
LFE	Low Frequency Effect

注意 2)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

4.17 EDID 物理アドレスコピー設定

EDID 物理アドレスのコピーを設定します。

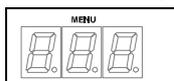
OUTPUT1 の EDID 物理アドレスをコピーして INPUT の EDID データにコピーします。

対応するソース機器、シンク機器を接続し、**4.3 EDID 解像度設定**(23 ページ)にて、「EDID 設定番号 3~22 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

CEC 機能は EDID 物理アドレスに対して接続が行われるために接続されているモニタの EDID 物理アドレスと本機の EDID 物理アドレスが違っている場合には CEC 機能が正しく動作しないことがあります。本設定で EDID 物理アドレスをコピーすることで EDID 物理アドレスが正しく設定されます。

INPUT1、INPUT2 個別に設定できます。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



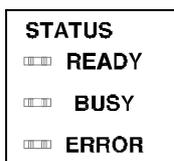
—+キー INPUT1 の EDID 物理アドレスコピー 設定→F38 を選択
INPUT2 の EDID 物理アドレスコピー 設定→F39 を選択

↓ SET キー



—+キー EDID 物理アドレスコピー 設定 (初期値は OFF)
OFF / ON

↓



EDID の設定が終了するまで BUSY LED が黄色に点灯します。
EDID の設定が終了すると READY LED が緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 1)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

注意 2)

本機の音声出力コネクタからは音声は出力されません。

4.18 出カイコライザー設定

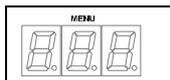
出力のイコライザーを設定します。

本機には長いケーブルを接続した場合に減衰してしまう信号を補正するケーブルイコライザ回路が搭載されております。HDMI 信号入力部は全自動式ですが、HDMI 信号出力部は手動で設定可能です。接続するケーブルの長さに応じて補正量を設定します。

接続には当社推奨ケーブル(AWG24)を使用してください。(12 ページ)

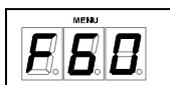
OUTPUTコネクタ1～5まで個別に設定できます。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

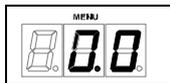
↓ SET キー



←+キー 設定する HDMI 出力コネクタを選択

OUTPUT1→F60 を選択、OUTPUT2→F61 を選択、OUTPUT3→F62 を選択、
OUTPUT4→F63 を選択、OUTPUT5→F64 を選択

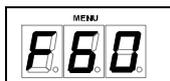
↓ SET キー



←+キー イコライザー設定値を選択 (初期値は 0.0)

0.0: OFF(補正なし) 1.5: LOW(弱い補正) 3.5: MIDDLE 6.0: HIGH(強い補正)

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意 1)

最大延長距離については (58 ページ) をご覧ください。

イコライザは 5m より長いケーブルを使用する際や、画面にノイズが発生しているときに有効です。

ただし、5m より長いケーブルを使用する場合はシンク機器(モニタ)のジッタ耐性などの性能に大きく左右されますので、事前に実機での評価をお勧めいたします。

注意 2)

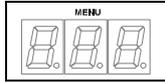
設定切換時に映像が乱れる場合がありますので、本機を運用する前にイコライザの設定を行なってください。

4.19 HDMI 音声出力設定

HDMI出力コネクタからの音声出力のON/OFFを設定します。

音声出力コネクタからの音声出力を利用して、HDMI出力コネクタからの音声出力をしたくない場合に設定します。

・メニューによる設定



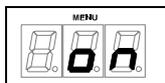
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



←+キー F65 を選択

↓ SET キー



←+キー 音声出力の ON/OFF を選択(初期値は音声出力 ON)

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

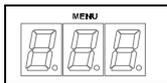
注意)

このメニューを実行すると、処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声途切れます。メニュー実行後は新しく設定した EDID にて動作を再開します。

4.20 キーロック設定

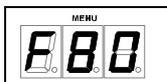
入力選択キー(11、16 ページ)のキーロック・解除を設定します。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



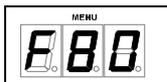
←+キー 入力選択キーのキーロック設定→F80 を選択

↓ SET キー



←+キー キーロックを選択(初期値は OFF: 解除)
OFF: 解除、ON: キーロック

↓ SET キー

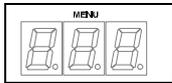


処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

4.21 バージョン情報表示

本機のファームウェアバージョンを表示します。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



←+キー ファームウェアバージョン表示→F90 を選択

↓ SET キー



ファームウェアバージョン表示 (本例: 1.00)

↓ SET キー



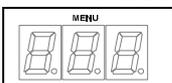
処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

4.22 メーカーメンテナンス表示設定

メーカーメンテナンスメニューの表示を設定します。

通常は操作の必要は有りませんので設定の必要はございません。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



←+キー メーカーメンテナンスメニュー表示→F99 を選択

↓ SET キー



←+キー メーカーメンテナンスメニュー表示を選択 (初期値は OFF)
OFF/ON

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

4.23 強制 HDMI モード出力設定

強制 HDMI モードを設定します。

本メニューは **4.22 メーカーメンテナンス表示設定** (43 ページ) を ON に設定した場合に表示されます。

本機の送信部 (OUTPUT1~5 コネクタ側) は、接続されているモニタなどシンク機器の入力することのできる信号周波数の範囲などの情報を取得するためにシンク機器の EDID データを取得します。

取得した内容に従って送信部は、接続されているシンク機器が HDMI モニタであるか、DVI モニタであるかを判断致します。

しかし万が一、EDID が取得できない状態 (例として 5m 以上の長いケーブルで接続されている状態や、ケーブルの品質が悪い、ケーブルに不具合がある、接続されているシンク機器に何らかの問題があり本機が正常に EDID を取得できないなど) の場合は、本機は接続機器の判定ができません。

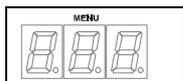
この場合、もし接続機器が HDMI モニタである場合、音声が出ないなどの問題が発生する可能性があります。

本メニューにて、強制 HDMI モードを ON に設定すると、本機が EDID を取得できない状態に陥ってしまった場合、接続先を HDMI として本機送信部が動作致します。

ただし、本メニューは EDID が取得できない異常時に用いる機能ですので、通常は設定の必要はございません。

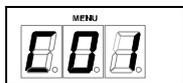
本設定を強制 HDMI モードで使用する場合には **4.3 EDID 解像度設定** (23 ページ) の設定を「外部 EDID」設定で使用せずに接続するモニタの解像度に対応した EDID を設定してください。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

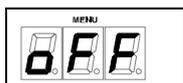
↓ SET キー



—+キー 設定する HDMI 出力コネクタを選択

OUTPUT1→C01 を選択、OUTPUT2→C02 を選択、OUTPUT3→C03 を選択、
OUTPUT4→C04 を選択、OUTPUT5→C05 を選択

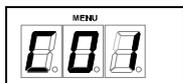
↓ SET キー



—+キー 強制 HDMI モードを選択 (初期値は OFF)

OFF/ON

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意)

このメニューを実行すると、HDMI 分配器の動作を一旦停止します。処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声が途切れます。メニュー実行後は新しく設定した音声出力設定にて分配器が動作を再開します。

4.24 RX HDCP 設定

HDCP の対応を設定します。

本メニューは **4.22 メーカーメンテナンス表示設定** (43 ページ) を ON に設定した場合に表示されます。

一般的なブルーレイプレーヤーや DVD プレーヤーの多くは、常に HDCP を付加して映像・音声を送信するので接続するモニタは HDCP 対応である必要があります。

これに対して HDCP 対応パソコンの場合、パソコンによっては、HDCP 対応モニタを接続した場合、常時 HDCP を出力するものと、著作権保護されているコンテンツを再生する場合のみ HDCP を出力するものがあります。

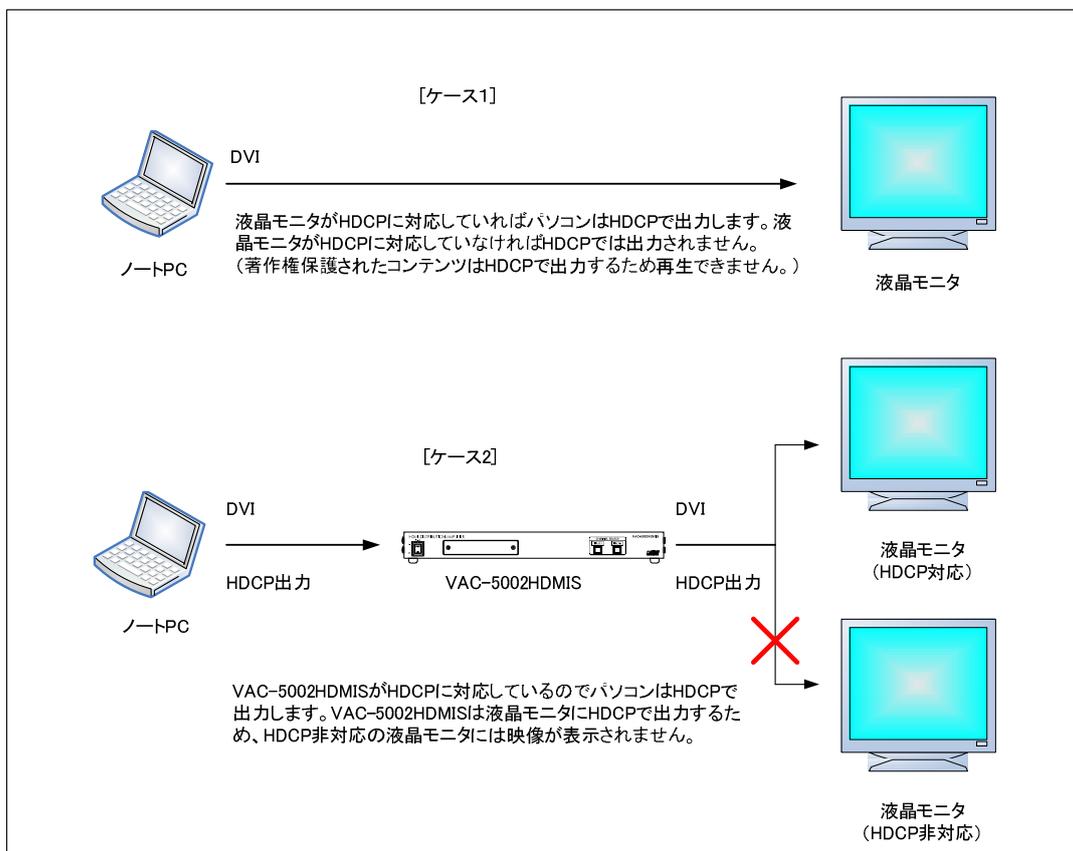
この場合、[図 4.26] ケース 1 のように、パソコンと HDCP 非対応モニタを接続した場合は、著作権保護されているコンテンツは再生できませんが OS などパソコンの操作画面は表示されます。

しかしこのパソコンに、[図 4.26] ケース 2 のように、本機をパソコンと HDCP 非対応モニタの間に接続した場合は、本機は HDCP に対応しているため、HDCP 非対応モニタに映像が映らない場合があります。

本メニューにて、HDCP OFF を設定すると、本機は HDCP 非対応機器としてパソコン側に認識されます。

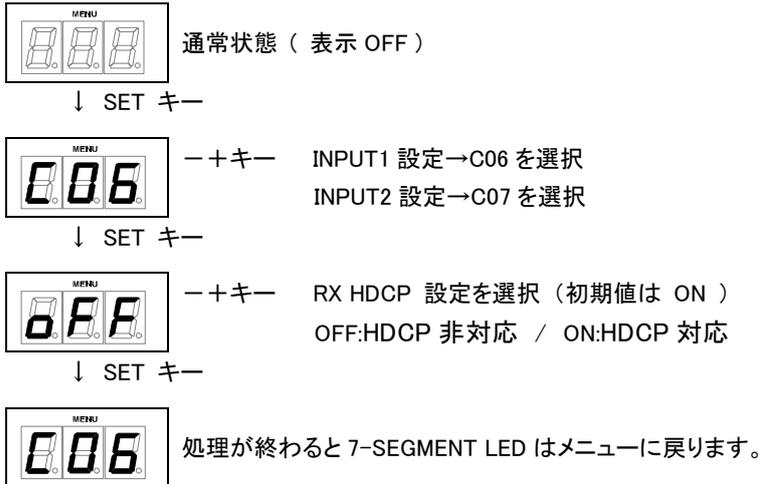
そのため、本機の OUTPUT コネクタに HDCP 非対応モニタを接続しても映像が表示されます。

ただし、本メニューを HDCP OFF に設定すると、本機の OUTPUT コネクタに HDCP 対応モニタを接続しても著作権保護されているコンテンツは再生できなくなりますので、通常は設定の必要はございません。



[図 4.14]パソコンと HDCP 対応・非対応モニタとの関係

・メニューによる設定



注意)

このメニューを実行すると、HDMI 分配器の動作を一旦停止します。処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声途切れます。メニュー実行後は新しく設定した音声出力設定にて分配器が動作を再開します。

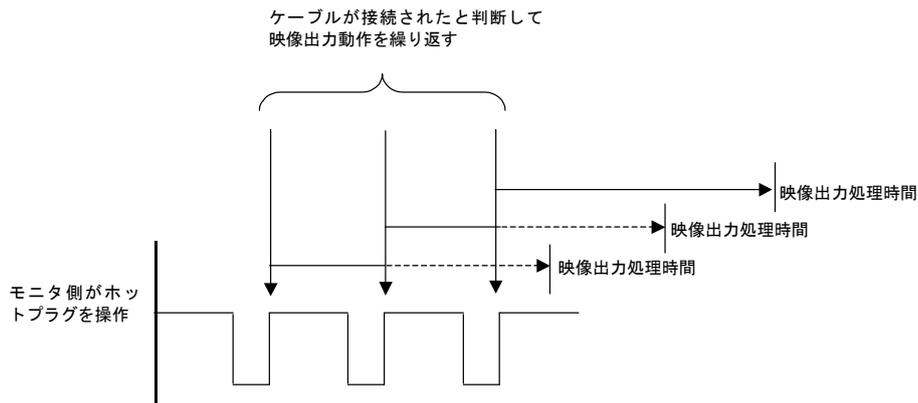
4.25 ホットプラグ オフ マスク設定

ホットプラグ監視のマスク時間を設定します。

本メニューは 4.22 メーカーメンテナンス表示設定 (43 ページ) を ON に設定した場合に表示されます。

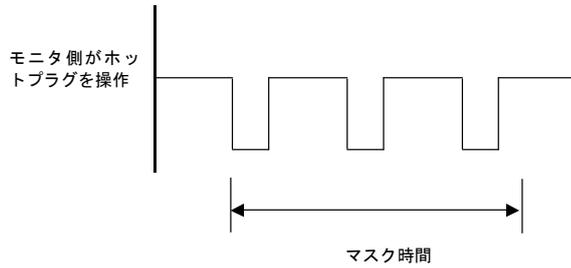
HDMI 機器は接続の検知にホットプラグ信号を検知して接続先の変更を認識しています。

映像信号の無入力監視機能(本機の 4.6 信号の無入力監視設定 (28 ページ)と同様の機能)を有するモニターと接続時にモニター側が映像信号の出力指示(ホットプラグの ON/OFF)を短い周期で繰り返された場合に分配器側で接続動作を繰り返すことになり映像出力までに時間がかかることがあります。



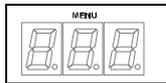
[図 4.15] ホットプラグ検出動作

本メニューにて、ホットプラグオフのマスク時間を設定することにより、ホットプラグオフ(HDMI ケーブルが抜かれた状態)の処理を遅らせて映像を出力し続けることでモニタとの接続をスムーズに行うことができます。



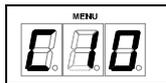
[図 4.16] ホットプラグ検出マスク

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



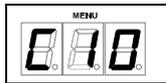
←+キー C10 を選択

↓ SET キー



←+キー ホットプラグ オフ マスク設定を選択 (初期値は OFF)
OFF、2～15: 2 秒～15 秒

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

4.26 強制カラー変換モード出力設定

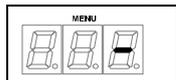
カラー変換モードを設定します。

本メニューは **4.22 メーカーメンテナンス表示設定** (43 ページ) を ON に設定した場合に表示されます。

通常は入力されるカラーモードと接続されているモニタのカラー変換対応状況に応じて自動で変換出力しますが、何らかの理由でモニタ側で正しく変換できない場合に本設定にてカラー変換モードを設定します。

ただし、本メニューはモニタ側で正しく変換できない異常時に用いる機能ですので、通常は設定の必要はございません。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

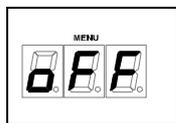
↓ SET キー



—+キー 設定する HDMI 出力コネクタを選択

OUTPUT1→C55 を選択、OUTPUT2→C56 を選択、OUTPUT3→C57 を選択、
OUTPUT4→C58 を選択、OUTPUT5→C59 を選択

↓ SET キー



—+キー 強制 HDMI モードを選択 (初期値は OFF)

OFF: 変換なし / RGB:RGB 出力 / 422:YCbCr422 出力 /
444:YCbCr444 出力

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

注意)

このメニューを実行すると、HDMI 分配器の動作を一旦停止します。処理が終了するまでの間、HDMI 出力からの映像・音声は途切れます。

4.27 状態表示

本機の動作状態を表示します。

本メニューは 4.22 メーカーメンテナンス表示設定 (43 ページ) を ON に設定した場合に表示されます。

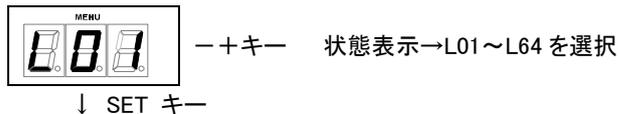
本機の動作状態を表示します。

万が一、本機の映像・音声に問題が発生した場合、トラブル解決のために用います。

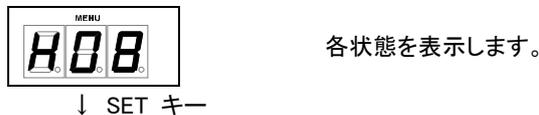
・メニューによる設定



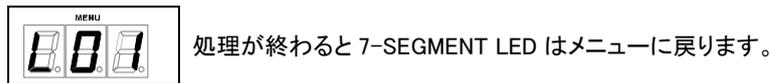
↓ SET キー



↓ SET キー



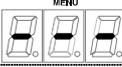
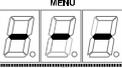
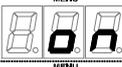
↓ SET キー



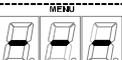
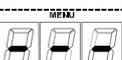
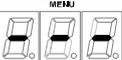
[表 4.17] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容
入力系	L01	入力映像の HDMI モード/DVI モードと色ビット数
		入力なし
		HDMI モード 8ビット
		HDMI モード 10ビット
		HDMI モード 12ビット
		DVI モード 8ビット
		DVI モード 10ビット
	L02	入力映像の HDCP 有無
		入力なし
		HDCP あり
	L03	入力映像の HDCP 認証有無(ソース側からの認証)
		入力なし
		認証あり

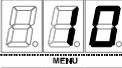
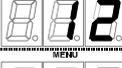
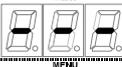
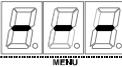
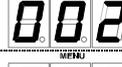
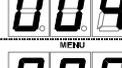
[表 4.18] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容	
入力系	L03		認証なし
	L04	入力映像の RGB/YCbCr	
			入力なし
			RGB
			YCbCr 444
			YCbCr 422
			拡張用
	L05	入力映像周波数	
			入力なし
	L06	DDC 電源入力状態	
			DDC 電源入力あり
	L07	入力タイミング	
			入力なし
			入力解像度をスクロール表示
	L10	音声入力形式(上位 2 桁)とチャンネル数(下位 1 桁)	
			不明または入力なし
			不明
			PCM Audio
			AC-3 Audio
			MPEG-1 Audio
			MP3 Audio
			MPEG-2 Audio
			AACLC Audio
		DTS Audio	
	ATRAC Audio		
	DSD Audio		

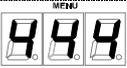
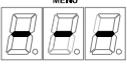
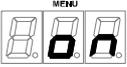
[表 4.19] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容
入力系	L10	 Dolby Digital + Audio
		 DTS-HD Audi
		 Dolby TrueHD Audio
		 DST Audio
		 WMA Audio
		 HE-AAC/HE-AACv2/MPEG Surround Audio
	L11	音声入力周波数
		 入力なし
		 22.05kHz
		 24kHz
		 32kHz
		 44.1kHz
		 48kHz
		 88.2kHz
		 96kHz
		 176.4kHz
		 192kHz
		 768kHz
		 なし
		L12
	 入力なし	
 HBR モード、24 ビットの場合		
 PCM モード、24 ビットの場合		
出力系	L30~L34	接続モニタの Deep Color 対応状況 OUTPUT1→L30、OUTPUT2→L31、OUTPUT3→L32、 OUTPUT4→L33、OUTPUT5→L34
		 未接続(EDID が読み込めなかった)
		 未対応

[表 4.20] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容	
出力系	L30~L34	 8ビット	
		 10ビット	
		 12ビット	
		 16ビット	
	L35~L39	接続モニタの HDMI/DVI 対応状況 OUTPUT1→L35、OUTPUT2→L36、OUTPUT3→L37、 OUTPUT4→L38、OUTPUT5→L39	
		 未接続(EDID が読み込めなかった)	
		 HDMI モード(圧縮音声対応)	
		 HDMI モード(PCM 音声対応)	
		 DVI モード(音声未対応)	
	L40~L44	接続モニタの RGB/YCbCr 対応状況 OUTPUT1→L40、OUTPUT2→L41、OUTPUT3→L42、 OUTPUT4→L43、OUTPUT5→L44	
		 未接続(EDID が読み込めなかった)	
		 RGB 対応モニタ	
		 RGB、YCbCr 444/422 対応モニタ	
		 RGB、YCbCr 422 対応モニタ	
	L45~L49	接続モニタとの HDCP 状態 OUTPUT1→L45、OUTPUT2→L46、OUTPUT3→L47、 OUTPUT4→L48、OUTPUT5→L49	
		 なし	
		 認証中	
		 認証中	
		 認証中	
		 認証正常終了	
		 認証異常終了	
	L50~L54	RGB/YCbCr 出力状態 OUTPUT1→L50、OUTPUT2→L51、OUTPUT3→L52、 OUTPUT4→L53、OUTPUT5→L54	
		 未接続(EDID が読み込めなかった)	

[表 4.21] メニュー番号(状態表示メニュー)

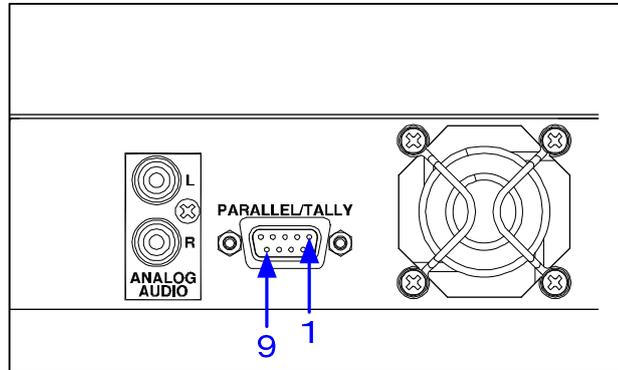
入出力種別	メニュー番号	内容
出力系	L50~L54	 RGB 出力
		 YCbCr 444 出力
		 YCbCr 422 出力
	L55~L59	接続モニタの HDCP 対応状態 OUTPUT1→L55、OUTPUT2→L56、OUTPUT3→L57、 OUTPUT4→L58、OUTPUT5→L59
		 未接続(EDID が読み込めなかった)
		 HDCP 対応
		 HDCP 非対応
	L60~L64	接続モニタとのホットプラグ検出 OUTPUT1→L60、OUTPUT2→L61、OUTPUT3→L62、 OUTPUT4→L63、OUTPUT5→L64
		 ホットプラグ検出あり
		 ホットプラグ検出なし

5 外部制御によるコントロール

5.1 外部制御コネクタのピン配列 (D-sub9 ピン)

本機は、入力選択キーを押す代わりに外部制御によって入力選択を行うことが可能です。

本機外部制御コネクタのピン配列と機能を[[図 5.1] 外部制御コネクタピン配列]、[[表 5.2] 外部制御コネクタピンの機能]に示します。



[図 5.1] 外部制御コネクタピン配列

[表 5.2] 外部制御コネクタピンの機能

ピン	端子名	機能
1	GND	
2	CH2	GND (LOW) で選択 OPEN=HIGH 非選択
3	LED1_R	CH1 が選択時 保護抵抗 330Ω 付きで 0V 出力 キーLED 用出力
4	LED1	CH1 が選択時 0V 出力
5	GND	
6	CH1	GND (LOW) で選択 OPEN=HIGH 非選択
7	VCC (+5V)	VAC-5002HDMIS より 5V が出力 MAX500mA
8	LED2_R	CH2 が選択時 保護抵抗 330Ω 付きで 0V 出力 キーLED 用出力
9	LED2	CH2 が選択時 0V 出力

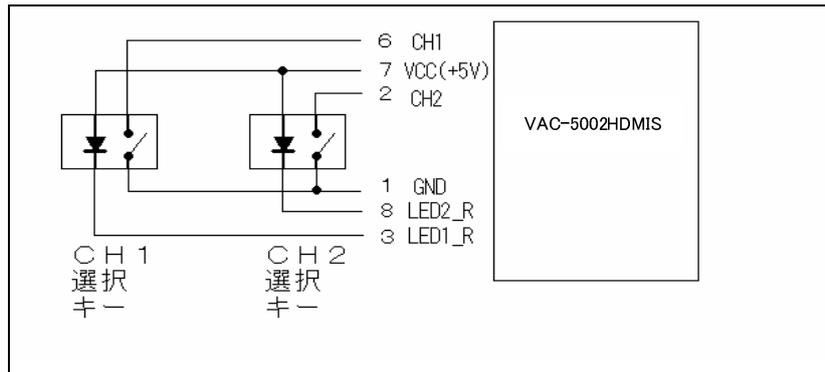
5.2 制御方法

＜外部制御キーによる切換＞

外部制御キーによる切換は、GND(1, 5 ピン)と CH1(6 ピン)をショートすると CH1 選択、GND(1, 5 ピン)と CH2(2 ピン)をショートすると CH2 選択です。ショートは 100mSec 程度で切り換ります。押したら ON、離したら OFF になるスイッチキーを使用してください。

キー照明(LED)を点灯させるには、アノード(+)側を VCC(7 ピン)に、カソード(-)側を CH1 用は LED1_R(3 ピン)、CH2 用は LED2_R(8 ピン)にそれぞれ接続してください。

なお、LED 保護抵抗を 330Ω 以外で使用したい場合は、LED1_R の代わりに LED1(4 ピン)、LED2_R の代わりに LED2(9 ピン)を使用して、外部で保護抵抗を設定してください。



【図 5.3】 外部制御キーによる切換

＜リモコンボックスによる外部制御＞

オプションの RC-200 を接続します。接続の際は本体の電源を落とし、接続しコネクタを左右のネジで固定してから、電源を投入してください。

RC-200 に使用するケーブルは専用ケーブルになります。当社営業部までお問い合わせください。

＜パソコンの I/O ボードなどを使用する＞

リモコン端子の入力回路はオープンコレクタで駆動できます。内部に 1KΩ の抵抗で VCC(+5V) にプルアップされています。オープンで非選択、LOW で選択となります。

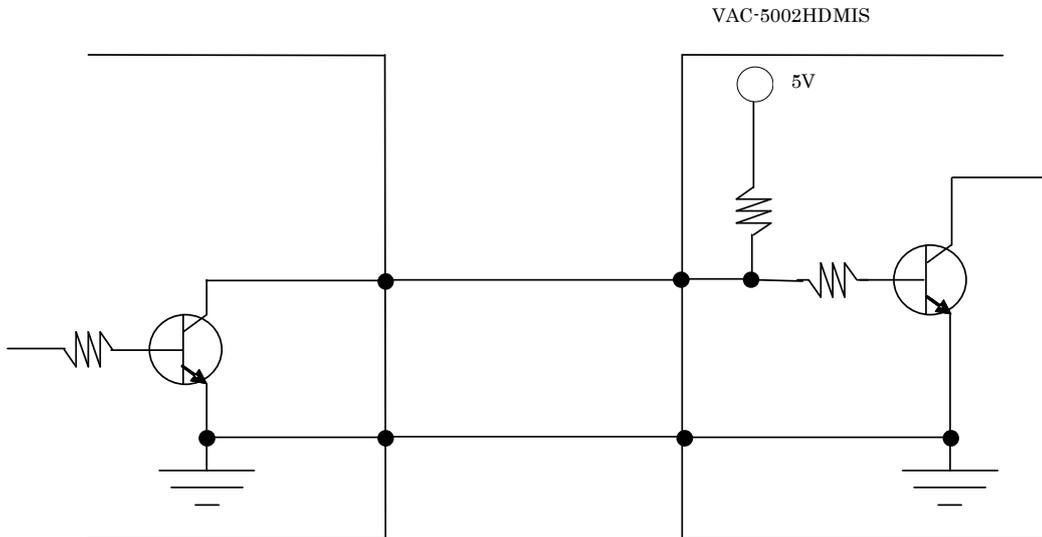
TTL で駆動する場合は 6 番ピン(CH1)を 100mSec 以上“0”(LOW レベル)にすると、チャンネルが 1 に切り換わります。2 番ピン(CH2)を 100mSec 以上“0”(LOW レベル)にすると、チャンネルが 2 に切り換わります。

注意)

- ・CH1、CH2 を同時に“0”にしないでください。
- ・有電圧制御を行う場合は 0V~+5V±5%の範囲内にしてください。
- ・未使用のピンはオープンにしてください。
- ・制御信号はパルスを入力してください。

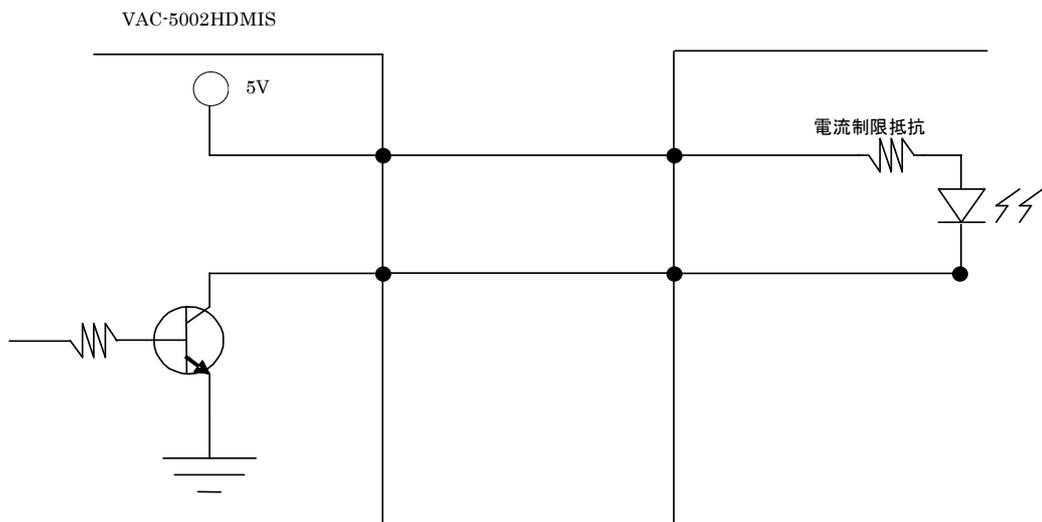
5.3 外部入出力回路

VAC-5002HDMIS 入力部(PARALLEL)の回路を[[図 5.4] 入力部(PARALLEL)]に示します。
オープンコレクタ制御、キー制御、TTL 制御ができます。



[図 5.4] 入力部(PARALLEL)

VAC-5002HDMIS 出力部(TALLY)の回路を[[図 5.5] 出力部(TALLY)]に示します。
信号出力部内部でプルアップされておきませんので、外部装置側でプルアップしてください。
選択が GND 出力 非選択がオープンです。



[図 5.5] 出力部(TALLY)

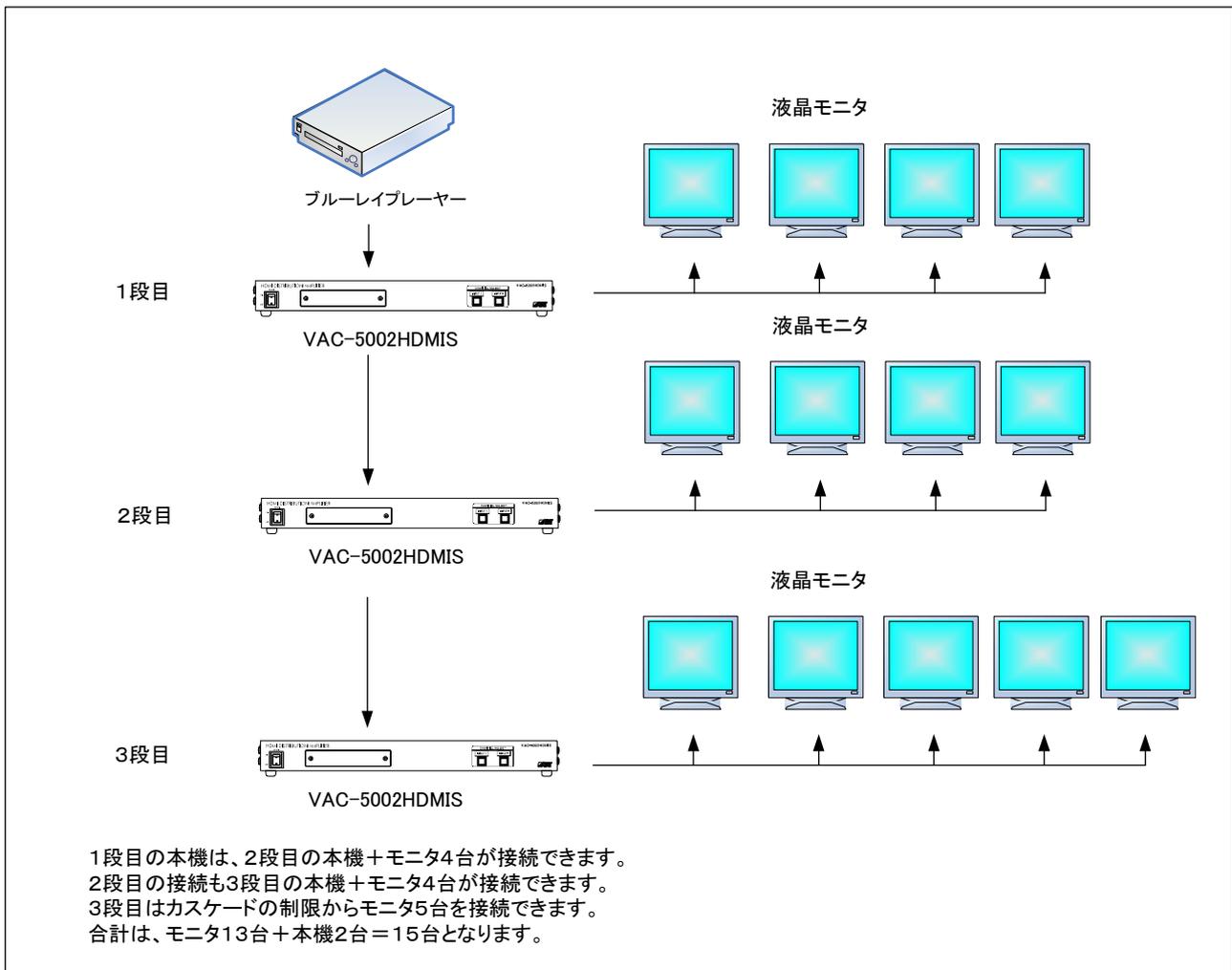
6 カスケード接続

本機は、本機同士をカスケード接続して(多段接続を示します。[図 6.1]をご参照ください。)分配数を増やすことが可能です。

注意)

[図 6.1] が当社が奨励する最大カスケード接続です。

- (1) 本機同士にてカスケード接続してください。
- (2) カスケード接続段数は最大 3 段まで、有効分配数(分配先は本機も含めます)は最大 15 出力です。
- (3) 本機以外の、他社製分配器、AV アンプ、リピータ装置を含めたカスケード接続は奨励しません。



[図 6.1] カスケード接続

7 仕様

7.1 製品仕様

VAC-5002HDMIS	
映像入力チャンネル数	2ch
映像出力チャンネル数	5ch
映像入力信号	TMDS シングルリンク HDMI Ver.1.3a(注 1) DVI Rev.1.0 HDCP 対応
映像出力信号	
対応映像フォーマット	HDTV/SDTV:480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p VESA(PC):ドットクロック 25MHz～162MHz(VGA～WUXGA) ※WUXGA は Reduced Blanking のみ対応しています
表示色	24 ビットフルカラー(1677 万色) 30 ビット/36 ビット Deep Color
ドットクロック	25MHz～165MHz
TDMS クロック	25MHz～225MHz
対応音声フォーマット	マルチチャンネルリニア PCM AC-3、Dolby Digital、AAC、Dolby Digital+、DTS、DTS-HD、Dolby TrueHD
プラグアンドプレイ	DDC2B 対応(内蔵 EDID/モニタより読み込んだ EDID/接続しているモニタの EDID の中から選択可能)※内蔵 EDID は最大解像度を選択可能
アナログ音声出力	1ch アンバランス L/R RCA ピンジャック 75Ω 200mV(rms)(注 3)
映像入力コネクタ	HDMI 端子 TypeA(19 ピン)
映像出力コネクタ	
入力適合ケーブル	HDMI ケーブル/当社指定ケーブル (指定ケーブル以外の場合、入出力部の最大延長距離を参考に接続テストしてください)
出力適合ケーブル	
ケーブル最大延長距離範囲	
デジタル入力部	最大 10～50m(注 2)
デジタル出力部	最大 10～50m(注 2)
外部制御	
外部制御方式	パラレル無電圧接点(メイク接点)入力 オープンコレクタ出力(9V/500mA)
外部制御端子	D-sub9 ピン(メス)
その他仕様	
電源電圧	AC90～250V 50/60Hz±3Hz
消費電力	約 20W
外形寸法	430(W)x44(H)x200(D)mm (EIA ラック 1U/突起物含まず)
質量	2.6kg
使用温度範囲	0～+40℃
使用湿度範囲	20～90%(但し結露なきこと)
保存温度範囲	-20～+80℃
保存湿度範囲	20～90%(但し結露なきこと)
付属品	電源コード×1、コードクランプ×7 ラック取付金具

(注 1) xvYCC および Lip Sync には対応していません。

(注 2) 接続される入出力機器により延長距離が異なります。上記に記載されたデータは IDK 製ケーブル(AWG24)を使用し、1080p 60Hz 24bit/pixel(8bit/component)の信号を入力または出力した場合の最大延長範囲です。なお、入出力機器の組み合わせおよび、他社製のケーブルを使用した場合は、記載された距離の範囲内でも、映像が乱れたり、映像が出力されなくなります。

当社にも検証データが御座いますのでお問い合わせください。

(注 3) アナログ音声出力は 2ch リニア PCM のみ対応します。

※付属の電源コードは本機専用品です。ほかの機器にはご使用にならないでください。

7.2 HDMI Type A コネクタのピン配列

1	TMDS Data2+	2	TMDS Data2 Shield
3	TMDS Data2-	4	TMDS Data1+
5	TMDS Data1 Shield	6	TMDS Data1-
7	TMDS Data0+	8	TMDS Data0 Shield
9	TMDS Data0-	10	TMDS Clock+
11	TMDS Clock Shield	12	TMDS Clock-
13	CEC	14	Reserved(NC)
15	SCL	16	SDA
17	DDC/CEC Ground	18	+5V Power
19	Hot Plug Detect		

※NC: No Connection

8 故障かな？と思う前に

本機が正常に動作しない場合は、まず、以下の点をご確認ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示機器は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

それでも問題が解決しない場合は、以下の点をご確認ください。また本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
映像出力		
入力からの映像が出力されない	入力選択キーが表示したいチャンネルに選ばれており、ケーブルの配線に問題が無い場合は、まず、[1]～[2]をご確認ください。	—
	[1] 本機の EDID 解像度設定が、表示機器が対応している入力解像度 に選択されていますか？ ・工場出荷時の EDID 解像度設定は 1080p に設定されており、市販のテレビによっては対応していない場合があります。 ・EDID 解像度設定を 1080i に設定した場合、インターレース信号に対応していない表示機器には映像が出力されない場合があります。 ・パソコン用のモニターはテレビ系の解像度に対応していない場合があります。逆に、パソコン系の解像度(VGA～WUXGA)は、液晶テレビやプラズマテレビには映像が出力されない場合があります。	23
	[2] 入力機器から信号が出力されていますか？ ・リアパネルの[SIGNAL LED]が点灯している場合は[3]～[5]を、消灯している場合は [6]～[8]をご確認ください。	11
	[3] HDCP により著作権保護された信号が入力されている場合は、表示機器が HDCP に対応していますか？ ・表示機器が HDCP に対応していない場合、著作権保護された信号が本機に入力された場合は出力には表示されません。 接続モニタの HDCP 対応状態をご確認ください。	49
	[4] 入力または出力に長いケーブルを接続している場合は、5m 以下の短いケーブルと交換してみてください。本機のデジタル入出力には5m 以上のケーブルを接続することが可能ですが、ケーブルの品質や接続する機器によっては、HDCP の認証や EDID の取得に失敗することが考えられます。	—
	[5] 対応範囲外の信号が入力されていませんか？	58
	[6] DDC 電源を出力しない機器を接続していませんか？ ・DDC 電源を出力しない機器を接続する場合は、設定の変更が必要です。	29
	[7] 無入力監視時間設定が短かすぎませんか？	28
[8] 入力機器の映像出力設定を確認してみてください。	—	

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
映像出力		
映像が途切れる、または映像にノイズが入る	出力に長いケーブルを接続している場合は、出力のイコライザを設定してください。	41
	入力または出力に長いケーブルを接続している場合は、5m 以下の短いケーブルと交換してみてください。本機のデジタル入出力には補償回路を搭載しているため 5m 以上のケーブルを接続することが可能ですが、ケーブルの品質や接続する機器によっては、十分に性能を発揮できない場合があります。短いケーブルと交換することにより症状が改善される場合は、長距離の伝送で信号が劣化していることが考えられます。当社では、高品質ケーブルおよびケーブル補償器や延長器などを用意しておりますので、ご相談ください。	—
	Deep Color の設定で本機をご利用の場合、Deep Color 信号は通常の信号に比べ伝送クロックが高速になるため、信号の入出力時に品質の悪いケーブルや長いケーブルを接続すると、映像にノイズが入ることがあります。 特定の入力チャンネルを選択した場合のみ症状が出る場合は入力側、全ての入力チャンネルで症状が出る場合は出力側に原因があります。 EDID の設定により、入力信号の色深度の制限が可能です。	30
映像がちらつく	インターレース信号に対応していない表示機器にインターレース信号を入力すると、映像がちらついて見える場合があります。モニタの対応解像度をご確認ください。	23
入力チャンネルを切り換えたとき、映像が出力されるまでに時間がかかる	本機は入力チャンネルを切りかえると入力機器との信号が一旦、切断されます。その後、入力機器と本機との間および本機と表示機器との間で HDCP 認証の処理を行うため HDCP 認証が終了するまでの間、映像出力されません。	10
音声出力		
映像は表示されるが音声が出力されない	HDMI 音声出力設定にて、音声出力 OFF に設定していませんか？	42
	入力機器に複数の出力端子がある場合は、入力機器の音声出力設定をご確認ください。	—
	接続されている表示機器または AV アンプが対応しているフォーマットの音声が入力されていますか？特にプラズマモニタや液晶モニタは、リニア PCM のサンプリング周波数 88.2kHz 以上、および圧縮音声(Dolby Digital、DTS など)を出力できない場合があります。 圧縮音声の収録されたブルーレイディスクなどを再生する場合は、入力機器の音声出力設定をご確認ください。 なお EDID の設定により、入力機器から出力する音声信号を制限することも可能です。	31 ～ 37
マルチチャンネルの音声を再生しているのに 2ch の音声しか出力されない。	工場出荷時は EDID の設定で 2ch に入力を制限しています。マルチチャンネルの再生を行う場合、EDID の設定を変更してください。	38
HDMI 出力からは音声が出力されるが、アナログ音声出力からは音声が出力されない	圧縮音声(Dolby Digital、DTS など)が入力されている場合、アナログ音声は出力されません。本機のアナログ音声出力は 2ch リニア PCM にのみ対応しております。	31 ～ 37

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
音声出力		
アナログ音声出力からは音声が出力されるが、HDMI 出力からは音声が出力されない	HDMI 音声出力設定にて、音声出力 OFF に設定していませんか？	42
	接続されている表示機器または AV アンプが音声を出力できる解像度を選択していますか？	23
	パソコン系の出力解像度(VGA~WUXGA)を選択した場合、表示機器または AV アンプが音声を出力できない場合があります。	
	接続されている表示機器または AV アンプが対応しているサンプリング周波数ですか？プラズマモニターや液晶モニターは、高いサンプリング周波数(88.2kHz 以上)の音声を出力できない場合があります。 なお EDID の設定により、入力機器から出力する音声信号を制限することも可能です。	31 ~ 37
入力機器から圧縮音声(Dolby Digital、DTS など)が出力されない	工場出荷時は EDID の設定で圧縮音声の入力を制限しています。	31
	圧縮音声を使用する場合は、EDID の設定を変更してください。	~ 37
	入力機器の音声出力設定をご確認ください。	—
キー操作		
キー操作ができない	キー操作がロックされていませんか？	42

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

- | |
|---|
| <p>1. 全ての入力、出力で同じ現象がでますか？
-はい- -いいえ-</p> <p>2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？
-はい- -いいえ-</p> |
|---|

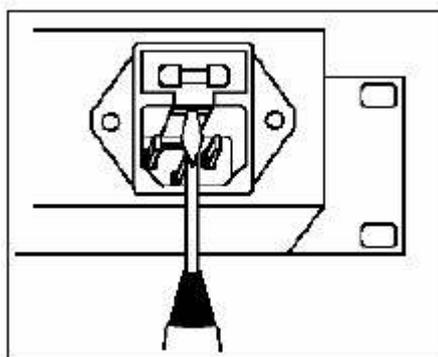
株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765
月曜～金曜 AM9:00 ~ PM5:00

9 ヒューズについて

本機には「5×20mmガラス管ヒューズ」が搭載されています。何らかの原因により、機器の回路ショートや回路部品の故障が発生したときはヒューズが切れて本機に過大電流が流れることを防ぎます。

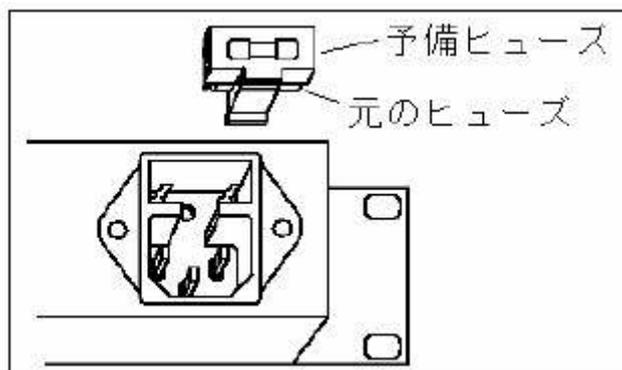
本機の電源が入らない時、ACインレット内のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は次の方法でヒューズを交換してください。

1. 本体の電源スイッチをOFFにして、コンセントからACケーブルを外します。
2. ACインレットからACケーブルを取り外します。
3. ACインレットのACケーブル接続部分にある凹部をドライバーなどで引き出して、ヒューズホルダ部分を取り出します。



【図 9.1】ヒューズホルダ

4. 予備のヒューズと交換します。



【図 9.2】ヒューズの交換

5. ヒューズホルダ部分を元通りにセットします。

※交換してもヒューズが切れる場合は故障の可能性がありますので、当社までご連絡ください。



株式会社 アイ・ディ・ケイ
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765
月曜～金曜 AM9:00～PM5:00

発行日 2011年01月14日 Ver.1.8.0_G
* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。
* 本書の無断転載を禁じます。